

農業農村整備事業用
滋賀県土地改良工事
積算基準

(令和 7 年 8 月 一部改定)

公表用閲覧図書

滋賀県農政水産部

R7 独自積算体系 一覧表

No	積算体系	工事工種体系	工事体系	説 明	
1	橋梁保全工事 (農業農村整備事業)	橋梁保全工事 (農業農村整備事業)	橋梁保全工事 (NN事業)	国土交通省土木工事標準積算基準に準拠。 ただし、週休2日補正、現場環境改善費は農業農村整備事業の要領による。	

R7 独自施工単価 一覧表

公表用

	番号	コード	施工単価条件表名		
【積み上げ型積算方式】					
	1 (1)	SQ0001	ほ場整備整地工(基盤造成・畦畔築立) 標準区画0.3ha 以上		
	1 (2)	SQ0005	ほ場整備整地工(基盤造成・畦畔築立) 標準区画0.3ha 未満		
	2	SQ0002	進入路整形工		
	3	SQ0003	畦畔整形工		
	4	SQ0004	一筆排水口		
	5	SQ2001	境界杭および用水表示杭設置		
	6	SR0001	ロングベンチフリューム(4000 機械布設)		
	7	SR0002	底面転圧(ロングベンチフリューム用)		
	8	SR0003	ベンチフリューム用蓋板		
	9	SS0001	アーム柵渠据付(人力)400×400 P=1.5m		
	10	SS0002	A型アーム柵渠据付(機械)		
	11	SS0003	B型アーム柵渠据付(機械)		
	12	ST0001	一筆高低測量		
	13	ST0002	打合せ(測量業務基準日額)		
	14	SV0001	資機材等の運搬費		
	15	SY0003	敷鉄板(小運搬)		
【施工パッケージ型積算方式】					
	16	SQA001	SP コンクリート		
	17	SQA002	SP表層(車道・路肩部)		
	18	SQA003	SP表層(歩道部)		
	19	SQA004	SP中間層(車道・路肩部)		
	20	SQA005	SP中間層(歩道部)		
	21	SQA006	SP基層(車道・路肩部)		
	22	SQA007	SP基層(歩道部)		
	23	SQA008	SPコンクリート削孔(電動ハンマドリル)		

ほ場整備工(基盤造成・畦畔築立)(標準区画 0.3ha 以上)				SQ0001	▲	施工単位	ha
適用範囲	計画平均区画面積が0.3ha以上の水田のほ場整備工事の基盤切盛、整地及び畦畔築立の作業に要するブルドーザの運転時間等を算定する場合に適用する。 ただし、現況地形の平均勾配が1/10を超える急傾斜地の場合又は、極端に扱い土量の少ない場合(現況水田の高低差が±10cm程度以下で表土の切盛作業と整地作業を同時に行う場合)は適用できない。						
規格	使用機械 湿地ブルドーザ 排対型(2次) 20ton級 バックホウ 排対型(2次) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)						
摘要	- 明細書計上数量は、出来上りの作付面積(水張面積)に畦畔面積及び点在する畑地等(移設する畑地及びクレーク等の埋立て等に係わる面積を含む)の面積(全体整備面積に占める点在する畑地等の面積が5%以内の場合)を加えた面積とし、道路敷地、水路敷地は含まない。 - この施工単価で設定している作業内容は次のとおりである。 - 基盤切盛、整地作業。 - 畦畔の築立(畦畔用土の盛土及び転圧)作業。 - 道路用土の集積、旧排水路の埋戻し、用排水路掘削の残土処理(用排水路掘削に使用するバックホウ等の作業は含まない)作業。 - ブルドーザで作業可能なコンクリート塊、再利用しない石積み等、通常の障害物除去作業。 - この施工単価に含まれず、別途計上する作業内容は次のとおりである。 - 表土扱いに係る作業。 - 用排水路掘削に使用するバックホウ等の作業。 - 道路用土等の地区外からの搬入、地区内からの搬出及びブルドーザによる運土が困難で積込みから運搬(不整地運搬車、ダンプトラック等)までの作業。 - 点在する畑地を含めて(全体整備面積に当該面積及び下記(5)の面積が5%以上占める場合)整備する場合の点在する畑地の整備に係わる作業。 - 畑地の移設、クレーク等の埋立て等(全体整備面積に当該面積及び上記(4)の面積が5%を超える場合)で大規模な扱い土量のある場合の整備に係わる作業。 - 道路用土のまき出し転圧。 - 湧水及び湿地地帯等の仮排水路の掘削作業。 - 畦畔築立の法面仕上げ。 - 面的な抜排根(樹園地等) - 現況地形の平均勾配が1/10を超える急傾斜地の場合は、基盤造成を別途計上した後、水田整地工(ブルドーザ)(S10005)を計上する。 - ブルドーザ及びバックホウともに賃料とする。 - 諸雑費はレーザーマシンの発光器及び受光器の費用である。 - 工事の内容及び条件等が本歩掛に示されている適用条件により難しい場合は適正と認められる実績又は資料によるものとし、以下の条件等の場合は、適用範囲外とする。 - 軟弱地盤で仮排水路等の排水処理を実施しても超湿地ブルドーザや超々湿地ブルドーザを使用する必要がある場合。 - 区画面積や搬入路が狭小でブルドーザの施工が困難な場合。						
補助文内容	施工区分						

施工単価構成内訳

1ha 当たり算出

名	称	規 格	コ ー ド	数 量	単 位	単 価	備 考
(1)	ブルドーザ	湿地 20t 級	F09015	TD/6.5*2.18	日	基 (LE)	
(2)	軽油		P34029	TD/6.5*137	L	基	
(3)	特殊運転手		R01021	TD/6.5	人	基 (D2)	
(4)	世話役		R01001	表 1	人	基 (D3)	
(5)	普通作業員		R01003	表 1	人	基 (D3)	
(6)	バックホウ	山 0.45m ³ (平 0.35m ³)	F08012	TB/6.9*2.46	日	基 (LE)	

ほ場整備工(基盤造成・畦畔築立)(標準区画 0.3ha 以上)				SQ0001	▲	施工単位	ha
(7) 軽油		P34029	TB/6.9*63	L	基	Σ (1)～(8)	Σ (1)～(9) (10)/1.0 QD
(8) 特殊運転手		R01021	TB/6.9	人	基(D2)		
(9) 諸雑費		Y00004	0.001				
(10) 合計		Y00011					
(11) 単価		Y00012	1.0	ha			
(12) 日当たり作業量		Y00020		ha			

選定項目表

施工区分の選択 表 1

施工区分	世話役(人)	普通作業員(人)
基盤切盛+畦畔築立+基盤整地	1.6	5.4
基盤切盛+畦畔築立	1.0	3.4
基盤整地	0.6	2.0
畦畔築立+基盤整地	1.2	3.1

備考

・普通作業員は隅部の整地等の機械作業の補助，雑物除去及び軽微な仮排水(水切り)に係る作業である。

計画平均区画面積の入力 (ha) 表 2

計画平均区画面積(A)	0
-------------	---

選定条件

・計画平均区画面積 = 対象地区の計画面積計(ha) / 対象地区の全区画数
(小数点以下3位四捨五入2位止り)

平均地形勾配の入力 表 3

平均地形勾配(I)	0
-----------	---

選定条件

・平均地形勾配とは，ほ場整備工事実施区域内における計画区画短辺方向の現況平均地形勾配である。
なお、地区内で勾配が一定でない場合には，その勾配の支配面積の加重平均により算出するものとする。
(例) 1/50の場合には0.02とする。 (小数点以下4位四捨五入3位止り)

排水状況の入力 表 4

排水状況(W)	0
---------	---

選定条件

・排水状況 = (1×A1+2×A2+3×A3) / (A1+A2+A3)
A1：乾田面積(ha)
A2：半湿田面積(ha)
A3：湿田面積(ha)
(小数点以下3位四捨五入2位止り)

備考

・乾田，半湿田，湿田の区分
乾 田：非かんがい期に作土の土壌水分が畑地と同程度となる水田
半湿田：乾田と湿田の中間にあり，高うねにすれば裏作が出来るような水田で，非かんがい期の地下水位が0.5～1.0m程度
湿 田：非かんがい期でも作土が水で飽和し，裏作が出来ないような水田

土質区分の選択 表 5

土質区分	土質係数(D)
砂・砂質土	0.0
粘性土・埴質土	1.0

ほ場整備工（基盤造成・畦畔築立）（標準区画 0.3ha 以上）	SQ0001	▲	施工単位	ha
---------------------------------	--------	---	------	----

障害物状況の選択

表 6

障害物状況	障害物状況による運転 時間（時間/ha）
	T2（バックホウ）
少ない	0.0
普通	0.9
多い	2.7
設定なし	0.0

選定条件

- ・障害物とは、電柱、墓地、国道、県道、河川、宅地等をいう。
- ・「普通」とは、電柱、墓地等の障害物が1ヶ所/haを標準とする。

長期割引単価区分（賃料機械）の選択

表 7

長期割引単価区分（賃料機械）	コード
あり	1
なし	0

選択条件

- ・賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

ほ場整備工(基盤造成・畦畔築立)(標準区画 0.3ha 以上)	SQ0001	▲	施工単位	ha
---------------------------------	--------	---	------	----

能力算定式

1. ブルドーザの 1ha 当たり運転時間は次の算定式によって求める。(小数点以下 2 位四捨五入 1 位止り)

$$TD = TDA + TDB + TDC$$

$$TD = TDA + TDB$$

$$TD = TDC$$

$$TD = TDB + TDC$$

$$TDA = T1 + 2.7 \times W + 7.9$$

$$TDB = -1.9 \times A + 1.3 \times D + 2.9$$

$$TDC = -3.6 \times A + 0.08 \times D + 10.8$$

ただし、 $TDA \cdot TDB \cdot TDC$ の値が 2 時間以下の場合はそれぞれ 2 時間とする。

TDA : 基盤切盛の運転時間 (時間/ha)

TDB : 畦畔築立の運転時間 (時間/ha)

TDC : 基盤整地の運転時間 (時間/ha)

$T1$: 地形勾配及び区画面積による運転時間 (時間/ha)

$$= 1128.0 \times A \times I$$

A : 計画平均区画面積 (ha) (表 2)

I : 現況平均地形勾配 (表 3)

W : 排水状況 (表 4)

D : 基盤土の土質係数 (表 5)

2. バックホウの 1ha 当たり運転時間は次の算定式によって求める。(小数点以下 2 位四捨五入 1 位止り)

$$TB = TBA + TBB + TBC$$

$$TB = TBA + TBB$$

$$TB = TBC$$

$$TB = TBB + TBC$$

$$TBA = 1436.9 \times A \times I + 7.6 \times T2 + 14.8$$

$$TBB = -26.8 \times A + 39.8$$

$$TBC = -62.1 \times A + 68.4$$

ただし、 $TBA \cdot TBB \cdot TBC$ の値が 1 時間以下の場合はそれぞれ 1 時間とする。

TBA : 基盤切盛の運転時間 (時間/ha)

TBB : 畦畔築立の運転時間 (時間/ha)

TBC : 基盤整地の運転時間 (時間/ha)

A : 計画平均区画面積 (ha) (表 2)

I : 現況平均地形勾配 (表 3)

$T2$: 障害物状況による運転時間 (表 6)

3. 1 日当たり作業量(QD)は次の算定式によって求める。

$$QD = T/TD$$

QD : 1 日当たりの作業量

T : ブルドーザ 1 日当たり運転時間

TD : ブルドーザ 1ha 当たり運転時間 (時間/ha)

参考

1. 湿地ブルドーザ(20t 級)の 1 日当たり運転時間 (T) = 6.5 時間

2. 関連施工単価

S10003 ほ場整備工(基盤造成・畦畔築率)(標準区画 0.3ha 以上)

ほ場整備工(基盤造成・畦畔築立)(標準区画 0.3ha 未満)			SQ0005	▲	施工単位	ha
適用範囲	計画平均区画面積が0.3ha未満の水田のほ場整備工事の基盤切盛、整地及び畦畔築立の作業に要するブルドーザの運転時間等を算定する場合に適用する。 ただし、現況地形の平均勾配が1/10を超える急傾斜地の場合又は、極端に扱い土量の少ない場合(現況水田の高低差が±10cm程度以下で表土の切盛作業と整地作業を同時に行う場合)は適用できない。					
規格	使用機械 湿地ブルドーザ 排対型(3次) 7ton級 バックホウ 排対型(3次) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)					
摘要	- 明細書計上数量は、出来上りの作付面積(水張面積)に畦畔面積及び点在する畑地等(移設する畑地及びクレーク等の埋立て等に係わる面積を含む)の面積(全体整備面積に占める点在する畑地等の面積が5%以内の場合)を加えた面積とし、道路敷地、水路敷地は含まない。 - この施工単価で設定している作業内容は次のとおりである。 - 基盤切盛、整地作業。 - 畦畔の築立(畦畔用土の盛土及び転圧)作業。 - 道路用土の集積、旧排水路の埋戻し、用排水路掘削の残土処理(用排水路掘削に使用するバックホウ等の作業は含まない)作業。 - ブルドーザで作業可能なコンクリート塊、再利用しない石積み等、通常の障害物除去作業。 - この施工単価に含まれず、別途計上する作業内容は次のとおりである。 - 表土扱いに係る作業。 - 用排水路掘削に使用するバックホウ等の作業。 - 道路用土等の地区外からの搬入、地区内からの搬出及びブルドーザによる運土が困難で積込みから運搬(不整地運搬車、ダンプトラック等)までの作業。 - 点在する畑地を含めて(全体整備面積に当該面積及び下記(5)の面積が5%以上占める場合)整備する場合の点在する畑地の整備に係わる作業。 - 畑地の移設、クレーク等の埋立て等(全体整備面積に当該面積及び上記(4)の面積が5%を超える場合)で大規模な扱い土量のある場合の整備に係わる作業。 - 道路用土のまき出し転圧。 - 湧水及び湿地地帯等の仮排水路の掘削作業。 - 畦畔築立の法面仕上げ。 - 面的な抜排根(樹園地等) - 現況地形の平均勾配が1/10を超える急傾斜地の場合は、基盤造成を別途計上した後、水田整地工(ブルドーザ)(S10005)を計上する。 - ブルドーザ及びバックホウともに賃料とする。 - 諸雑費はレーザーマシンの発光器及び受光器の費用である。 - 工事の内容及び条件等が本歩掛に示されている適用条件により難しい場合は適正と認められる実績又は資料によるものとし、以下の条件等の場合は、適用範囲外とする。 - 軟弱地盤で仮排水路等の排水処理を実施しても超湿地ブルドーザや超々湿地ブルドーザを使用する必要がある場合。 - 区画面積や搬入路が狭小でブルドーザの施工が困難な場合。					
補助文内容	施工区分					

施工単価構成内訳

1ha 当たり算出

名	称	規 格	コ ー ド	数 量	単 位	単 価	備 考
(1)	ブルドーザ	湿地 7t 級	F09013	TD/6.1*2.38	日	基(LE)	
(2)	軽油		P34029	TD/6.1*51	L	基	
(3)	特殊運転手		R01021	TD/6.1	人	基(D2)	
(4)	世話役		R01001	表 1	人	基(D3)	
(5)	普通作業員		R01003	表 1	人	基(D3)	
(6)	バックホウ	山 0.45m ³ (平 0.35m ³)	F08012	TB/6.8*2.20	日	基(LE)	

ほ場整備工(基盤造成・畦畔築立)(標準区画 0.3ha 未満)				SQ0005	▲	施工単位	ha
(7) 軽油		P34029	TB/6.8*63	L	基	Σ(1)~(8)	Σ(1)~(9) (10)/1.0 QD
(8) 特殊運転手		R01021	TB/6.8	人	基(D2)		
(9) 諸雑費		Y00004	0.002				
(10) 合計		Y00011					
(11) 単価		Y00012	1.0	ha			
(12) 日当たり作業量		Y00020		ha			

選定項目表

施工区分の選択

表 1

施工区分	世話役(人)	普通作業員(人)
基盤切盛+畦畔築立+基盤整地	3.6	7.5
基盤切盛+畦畔築立	2.3	5.1
基盤整地	1.3	2.4
畦畔築立+基盤整地	2.2	4.1

備考

- ・普通作業員は隅部の整地等の機械作業の補助、雑物除去及び軽微な仮排水(水切り)に係る作業である。

計画平均区画面積の入力 (ha) 表 2

計画平均区画面積(A)	0
-------------	---

選定条件

- ・計画平均区画面積 = 対象地区の計画面積計(ha) / 対象地区の全区画数
(小数点以下3位四捨五入2位止り)

平均地形勾配の入力 表 3

平均地形勾配(I)	0
-----------	---

選定条件

- ・平均地形勾配とは、ほ場整備工事実施区域内における計画区画短辺方向の現況平均地形勾配である。
なお、地区内で勾配が一定でない場合には、その勾配の支配面積の加重平均により算出するものとする。
(例) 1/50の場合には0.02とする。(小数点以下4位四捨五入3位止り)

土質区分の選択

表 4

土質区分	土質係数(D)
砂・砂質土	0.0
粘性土・埴質土	1.0

障害物状況の選択

表 5

障害物状況	障害物状況による運転時間(時間/ha)
	T2(バックホ)
少ない	0.0
普通	0.9
多い	2.7
設定なし	0.0

選定条件

- ・障害物とは、電柱、墓地、国道、県道、河川、宅地等をいう。
- ・「普通」とは、電柱、墓地等の障害物が1ヶ所/haを標準とする。

長期割引単価区分(賃料機械)の選択

表 6

長期割引単価区分(賃料機械)	コード
あり	1

ほ場整備工（基盤造成・畦畔築立）（標準区画 0.3ha 未満）	SQ0005	▲	施工単位	ha
なし	0			

- 選択条件
- ・ 賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
 - ・ 長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

ほ場整備工（基盤造成・畦畔築立）（標準区画 0.3ha 未満）	SQ0005	▲	施工単位	ha
---------------------------------	--------	---	------	----

能力算定式

1. ブルドーザの 1ha 当たり運転時間は次の算定式によって求める。（小数点以下 2 位四捨五入 1 位止り）

$$\begin{aligned}
 TD &= TDA + TDC \\
 TD &= TDA \\
 TD &= TDC \\
 TD &= TDC
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 TDA &= T1 + 20.7 \times D + 35.3 \\
 TDC &= -142.7 \times A + 12.6 \times D + 57.3
 \end{aligned}$$

ただし、TDA・TDCの値が2時間以下の場合はそれぞれ2時間とする。

TDA：基盤切盛の運転時間（時間／ha）
 TDC：基盤整地の運転時間（時間／ha）
 T1：地形勾配及び区画面積による運転時間（時間／ha）
 $= 1060.3A \times I$
 A：計画平均区画面積（ha）（表2）
 I：現況平均地形勾配（表3）
 D：基盤土の土質係数（表4）

2. バックホウの 1ha 当たり運転時間は次の算定式によって求める。（小数点以下 2 位四捨五入 1 位止り）

$$\begin{aligned}
 TB &= TBA + TBB + TBC \\
 TB &= TBA + TBB \\
 TB &= TBC \\
 TB &= TBB + TBC
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 TBA &= 2635.2 \times A \times I + 18.5 \times T2 + 21.4 \\
 TBB &= -452.0 \times A + 155.7 \\
 TBC &= -267.6 \times A + 92.3
 \end{aligned}$$

ただし、TBA・TBB・TBCの値が1時間以下の場合はそれぞれ1時間とする。

TBA：基盤切盛の運転時間（時間／ha）
 TBB：畦畔築立の運転時間（時間／ha）
 TBC：基盤整地の運転時間（時間／ha）
 A：計画平均区画面積（ha）（表2）
 I：現況平均地形勾配（表3）
 T2：障害物状況による運転時間（表5）

3. 1日当たり作業量(QD)は次の算定式によって求める。

$$\begin{aligned}
 QD &= T/TD \\
 QD &: 1日当たりの作業量 \\
 T &: \text{ブルドーザ 1日当たり運転時間} \\
 TD &: \text{ブルドーザ 1ha 当たり運転時間（時間／ha）}
 \end{aligned}$$

参考

1. 湿地ブルドーザ(7t級)の1日当たり運転時間(T)=6.1時間
2. 関連施工単価
S10008 ほ場整備工（基盤造成・畦畔築率）（標準区画 0.3ha 未満）

進入路整形工			SQ0002	▲	施工単位	箇所
適用範囲 規格	ほ場整備工事で実施する進入路（土）の機械による進入路面および法面の整形に適用する。 使用機械 バックホウ 排対型（3次）クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）（法面バケット付き）					
摘要						
補助文内容	高さ H(m), 幅員 B(m)					

施工単価構成内訳

10 箇所当たり算出

名 称	規 格	コード	数 量	単 位	単 価	備 考
(1) 世話役	山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	R01001	表 1	人	基 (D3)	
(2) 普通作業員		R01003	表 1	人	基 (D3)	
(3) バックホウ		F08012	表 1*2.32	日	基 (LE)	
(4) 軽油		P34029	表 1*58	L	基	
(5) 運転手（特殊）		R01021	バックホウ運転日	人	基 (D2)	
(6) 合計		Y00011				Σ (1) ~ (5)
(7) 単価		Y00012	1.0	箇所		(6) / 10.0
(8) 1 日当たり作業量		Y00020		箇所		QD

選定項目表

進入路の高さおよび幅員の選択（10 箇所当たり）

表 1

高さ H(m)	幅員 B(m)	進入路面積 (m ²)	進入路法面積 (m ²)	控除道路法面積 (m ²)	バックホウ運転日 (日)	世話役 (人)	普通作業員 (人)
H=0.3	B=3.0	32.4	4.6	14.5	0.16	0.05	0.11
	B=6.0	64.8	4.6	27.3	0.29	0.08	0.21
H=0.5	B=3.0	54	12.7	26.2	0.28	0.08	0.20
	B=6.0	108	12.7	47.4	0.51	0.15	0.37
H=0.8	B=3.0	86.4	32.6	46.7	0.50	0.14	0.36
	B=6.0	172.8	32.6	80.7	0.86	0.25	0.62
H=1.1	B=3.0	118.8	61.6	70.9	0.76	0.22	0.55
	B=6.0	237.6	61.6	117.5	1.25	0.36	0.91
H=1.4	B=3.0	151.2	99.8	98.6	1.05	0.30	0.76
	B=6.0	302.4	99.8	158.0	1.68	0.49	1.22
H=1.7	B=3.0	183.6	147.1	129.9	1.39	0.40	1.00
	B=6.0	367.2	147.1	202.0	2.15	0.62	1.56
H=2.0	B=3.0	216	203.6	164.8	1.76	0.51	1.27
	B=6.0	432	203.6	249.7	2.66	0.77	1.93

長期割引単価区分（賃料機械）の選択

表 2

長期割引単価区分（賃料機械）	コード
あり	1
なし	0

選択条件

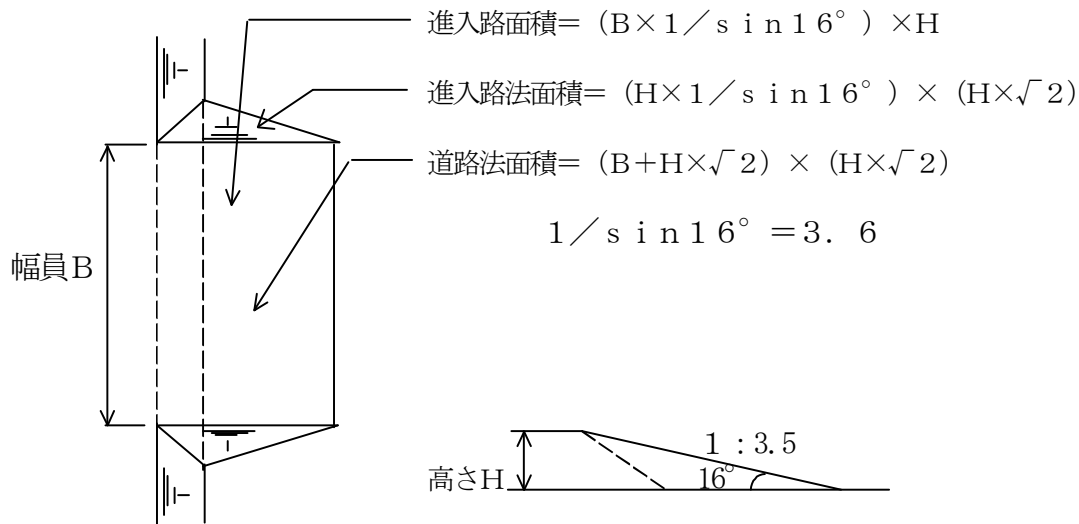
- ・賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

能力算定式

1. 1日当たり作業量(QD)は次の算定式によって求める。

$$QD = 1 / \text{表1 (10か所あたりバックホウ運転 日数)} \times 10 \text{ (箇所/日)}$$

参考図



関連施工単価

S10009 畦畔整形工

畦畔整形工			SQ0003	▲	施工単位	m
適用範囲	ほ場整備工事の畦畔築立後の畦畔整形作業を行う場合に適用する。					
規格	使用機械 バックホウ 排対型（3次）クローラ型 山積0.45m3（平積0.35m3）（法面バケット付き）					
摘要	1. 畦畔整形は、法面および水平面の整形範囲を対象とする。					
補助文内容	田面差区分（m）,天端幅区分（m）					

施工単価構成内訳

100m当たり算出

名 称	規 格	コード	数 量	単 位	単 価	備 考
(1) 世話役	山積 0.45m3 (平積 0.35m3)	R01001	表 1	人	基 (D3)	Σ (1) ~ (5) (6) / 100.0 QD
(2) 普通作業員		R01003	表 1	人	基 (D3)	
(3) バックホウ		F08012	表 1*2.32	日	基 (LE)	
(4) 軽油		P34029	表 1*58	L	基	
(5) 運転手（特殊）		R01021	バックホウ運転日	人	基 (D2)	
(6) 合計		Y00011				
(7) 単価		Y00012	1.0	m		
(8) 1日当たり作業量		Y00020		m		

選定項目表

田面差および天端幅の選択（100m当たり）

表 1

田面差区分 (m)	天端幅区分 (m)	田面差の適用範囲 (m)	法面積 (㎡)	天端面積 (㎡)	バックホウ運転日数 (日)	世話役 (人)	普通作業員 (人)
0.0	0.3	0 ~ 0.14	84.9	30.0	0.79	0.23	0.57
	0.5	0 ~ 0.14	84.9	50.0	0.93	0.27	0.67
0.3	0.3	0.15 ~ 0.44	127.3	30.0	1.09	0.31	0.79
	0.5	0.15 ~ 0.44	127.3	50.0	1.22	0.35	0.89
0.6	0.3	0.45 ~ 0.74	169.7	30.0	1.38	0.40	1.00
	0.5	0.45 ~ 0.74	169.7	50.0	1.52	0.44	1.10
0.9	0.3	0.75 ~ 1.04	212.1	30.0	1.67	0.48	1.21
	0.5	0.75 ~ 1.04	212.1	50.0	1.81	0.52	1.31
1.2	0.3	1.05 ~ 1.34	276.7	30.0	2.12	0.61	1.53
	0.5	1.05 ~ 1.34	276.7	50.0	2.25	0.65	1.63
1.5	0.3	1.35 ~ 1.64	323.6	30.0	2.44	0.71	1.77
	0.5	1.35 ~ 1.64	323.6	50.0	2.58	0.75	1.87
1.8	0.3	1.65 ~ 1.94	421.0	30.0	3.11	0.90	2.26
	0.5	1.65 ~ 1.94	421.0	50.0	3.25	0.94	2.36
2.1	0.3	1.95 ~ 2.24	475.1	30.0	3.49	1.01	2.53
	0.5	1.95 ~ 2.24	475.1	50.0	3.62	1.05	2.63

長期割引単価区分（賃料機械）の選択

表 2

長期割引単価区分（賃料機械）	コード
あり	1
なし	0

選択条件

- ・賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

能力算定式

1. 1日当たり作業量(QD)は次の算定式によって求める。

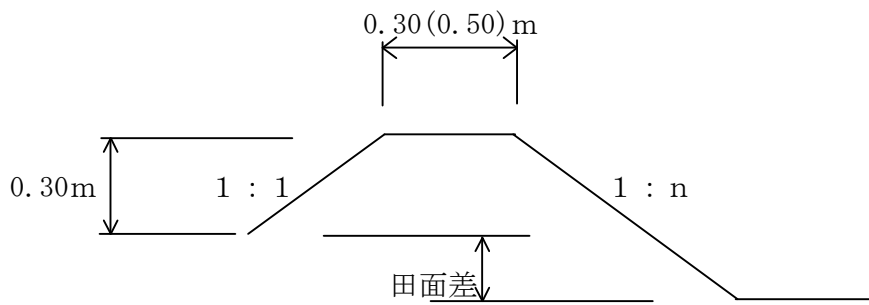
$$QD = 1 / \text{表1 (100m当たりバックホウ運転日数)} \times 100 \text{ (m/日)}$$

参考図

天端幅は、0.3mと0.5mの2タイプとする。

法勾配

0	$\leq H \leq 1.04$	$n = 1.0$
1.05	$\leq H \leq 1.64$	$n = 1.2$
1.65	$\leq H \leq 2.24$	$n = 1.5$



関連施工単価

S10009 畦畔整形工

一筆排水口			SQ0004	▲	施工単位	個
適用範囲	本歩掛は「参考歩掛」とするため、内容および条件等を十分に確認して適用すること。 硬質塩化ビニル管（VUφ150）および排水樹（コンクリート二次製品）を使用した田面の各筆排水口の施工に適用する。					
規格摘要						
補助文内容	段差（m），溝畔天端幅（m）					

施工単価構成内訳

10 個当たり算出

名 称	規 格	コード	数 量	単 位	単 価	備 考
(1) 普通作業員	薄肉管 VU 径 150 長 4.0m 制水板共	R01003	表 1	本	基 (C)	掘削
(2) 普通作業員		R01003	表 1		基 (C)	埋戻
(3) 硬質ポリ塩化ビニル管		P05040	表 1		基	両挿し口
(4) 接合費		Y00005	0.02		(3)	
(5) 特殊作業員		R01002	表 1	個	基 (C)	塩ビ管布設
(6) 普通作業員		R01003	表 1		基 (C)	塩ビ管布設
(7) 一筆排水樹		表 2	10.0		基	
(8) 世話役		R01001	表 2		基 (D3)	樹設置
(9) 特殊作業員		R01002	表 2		基 (D3)	樹設置
(10) 普通作業員		R01003	表 2		基 (D3)	樹設置
(11) 合計		Y00011				Σ (1) ~ (10)
(12) 単価		Y00012	1.0			(11)/10.0

選定項目表

溝畔の規格の選択（10 個当たり）

表 1

段差（m）	溝畔天端幅（m）	普通作業員 [掘削] （人）	普通作業員 [埋戻] （人）	塩ビ管 [塩ビ布設] （本）	特殊作業員 [塩ビ布設] （人）	普通作業員 [塩ビ布設] （人）
0.25 ～ 0.44	0.3	0.57	0.21	3.7	0.19	0.28
	0.5	0.70	0.26	4.2	0.22	0.32
0.45 ～ 0.74	0.3	0.74	0.28	4.5	0.23	0.34
	0.5	0.93	0.36	5.0	0.26	0.38
0.75 ～ 1.04	0.3	0.92	0.36	5.4	0.28	0.41
	0.5	1.12	0.45	5.9	0.31	0.45

塩ビ管は両挿し口直管である。

排水口の選択（10 個当たり）

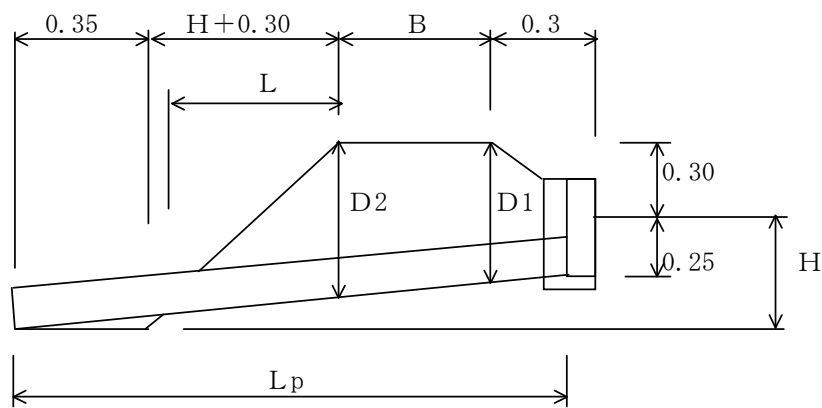
表 2

1 個当たり質量 (kg/個)	材料コード	世話役（人）	特殊作業員（人）	普通作業員（人）
80 kg 以下	PQ5341	0.1	0.1	0.2

一筆排水口の規格は 230×320×550 である。

参 考

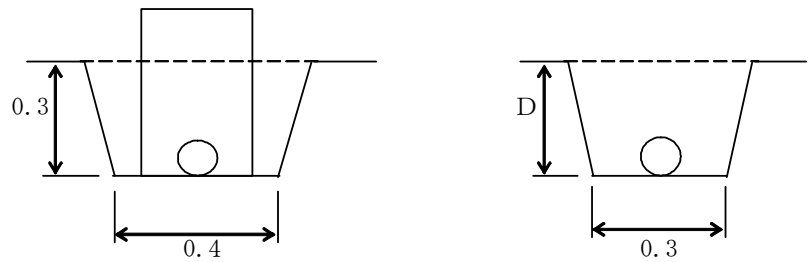
図－1



表－1

B	0.3	0.5
L _p	$\sqrt{(2H^2+1.8H+1.4)}$	$\sqrt{(2H^2+2.2H+1.9)}$
D ₁	$\frac{0.75H+0.58}{H+1.15}$	$\frac{0.75H+0.69}{H+1.35}$
D ₂	$\frac{1.05H+0.51}{H+1.15}$	$\frac{1.25H+0.57}{H+1.35}$
L	$0.75H+0.36$	$0.78H+0.36$

図－2



CA : $(0.4+0.58) \times 1/2 \times 0.3=0.147$
RA : $0.147- (0.32 \times 0.3) =0.051$

W : $0.3 \times D \times 2 +0.3$
CA : $(W+0.3) \times 1/2 \times D$
RA : $CA- 1/4 \times \pi \times 0.16^2$
= CA -0.020

表－ 2

B	0.3			0.5		
H	0.3	0.6	0.9	0.3	0.6	0.9
Lp	1.46	1.79	2.15	1.66	1.98	2.35
D1	0.56	0.59	0.61	0.55	0.58	0.61
C A1	0.262	0.281	0.295	0.256	0.275	0.295
R A1	0.242	0.261	0.275	0.236	0.255	0.275
D2	0.57	0.65	0.71	0.57	0.68	0.75
C A2	0.268	0.321	0.364	0.268	0.342	0.394
R A2	0.248	0.301	0.344	0.248	0.322	0.374
L	0.59	0.81	1.04	0.59	0.83	1.06
掘 削	0.22	0.285	0.354	0.271	0.359	0.432
埋 戻	0.191	0.253	0.321	0.237	0.324	0.409

掘削は上記数量に人力土工（切崩） 普通作業員 0.26 人/m³ を乗じる。

埋戻は上記数量に人力土工（盛土・埋戻） 埋戻__はね付け＋まき出し__締固めを計上しない 普通作業員 1.11 人/10m³ を乗じる。

関連施工単価

S01002 人力土工（切崩）：施工パッケージ単価移行に伴い廃止

S01041 人力土工（盛土・埋戻） 埋戻__はね付け＋まき出し__締固めを計上しない

境界杭および用水表示杭設置	SQ2001	◎	施工単位	本
---------------	--------	---	------	---

適用範囲	6×6×60cm, 10×10×60cmの用地境界杭（滋賀県）および用水表示杭設置に適用する。
規格摘要	1. 杭の設置に伴う簡易な測量、床掘、埋戻し及び材料の移動手間を含む。 2. 設置場所の土質が岩の場合には適用できない。
補助文内容	杭規格, 作業条件

施工単価構成内訳

10本当たり算出

名	称	規	格	コード	数	量	単位	単	価	備	考
(1)	用地境界杭			表1	10.0		本		基		
(2)	世話役			R01001	表1		人		基(C)		
(3)	普通作業員			R01003	表1		人		基(C)		
(4)	合計			Y00011						Σ(1)～(3)	
(5)	単価			Y00012	1.0		本			(4)/10.0	
(6)	1日当たり作業量			Y00020			本			QD	

選定項目表

規格、作業条件の選択（10本当たり）

表1

杭規格	作業条件	材料のコード	世話役（人）	普通作業員（人）
60×60×600	良好	PQ5811	0.16	0.41
	普通	PQ5811	0.20	0.51
	不良	PQ5811	0.33	0.87
100×100×600（滋賀県）	良好	PQ5801	0.25	0.66
	普通	PQ5801	0.31	0.82
	不良	PQ5801	0.53	1.38
100×100×600（用水）	良好	PQ5801	0.25	0.66
	普通	PQ5801	0.31	0.82
	不良	PQ5801	0.53	1.38

- ・杭規格の（滋賀県）は、用地境界杭の「滋賀県」の明示があるもの、また、（用水）は、用水表示杭である。
- ・作業条件は下記による。
良好：杭の設置間隔が10m未満の場合。
不良：杭の設置場所が傾斜部でかつ地山が固い場合、または、設置間隔が50m以上の場合。
普通：上記の条件以外の場合。
- ・根固めは含まれない。

境界杭の単価0円区分の選択

表2

単価0円	コード
する	1
しない	0

能力算定式

- 1日当たり作業量(QD)は次の算定式による。

P：基本給対象時間以内の作業時間

GR1：超勤割増対象作業時間

ΣH=P+GR1

$$QD = \frac{1}{\text{表1（普通作業員(人)）}} \times 10 \times \frac{\Sigma H}{8} \quad (\text{本/日})$$

関連施工単価

ロングベンチフリューム(4000 機械布設)	SR0001	—	施工単位	m
------------------------	--------	---	------	---

適用範囲	標準単価方式による排水構造物工（U型側溝）に材料（側溝本体・基礎碎石）を加えた単価であり、製品の長さが4.0mのロングベンチフリュームの据付（据付＋敷モルタルまたは敷砂＋基礎碎石）または再利用撤去に適用する。
規格摘要	製品規格 呼称 250～650 1. 標準単価が適用できない範囲 （1）再利用を目的としない側溝本体の撤去工事。 （2）地すべり防止施設および急傾斜崩壊対策施設における側溝の設置工事。 （3）その他、規格・仕様等が適合しない場合。 2. 目地材はW型シール材とする。
補助文内容	製品規格, 水路本体材料計上区分, 基礎碎石の施工有無, 施工区分Ⅱ, 時間的制約, 法面小段面, 法面縦排水, 施工区分

施工単価構成内訳

1.0m当たり算出

名 称	規 格	コ ー ド	数 量	単 位	単 価	備 考
(1) ロングベンチフリューム材料	表 2	表 2	0.250	本	基	据付の時
(2) ベンチフリューム止水材	表 2	表 2	0.250	個	基	据付の時
(3) 基礎碎石材料	表 9	表 9	1.0*表 10*1.20	m ³	基	基礎碎石ありの時
(4) 排水構造物工		表 3	1.0	m	基*基(DHT)*表 4*表 5*表 6*表 7*表 7	
(5) 合計		Y00011				Σ (1)～(4)
(6) 単価		Y00012	1.0	m		(5)/1.0
(7) 1日当たり作業量		Y00020	QD	m		

選定項目表

水路本体材料計上区分の選択

表 1

水路本体材料計上区分	コ ー ド
水路本体材料あり	1
水路本体材料なし	0

製品規格の選択

表 2

製品規格	ロングベンチフリューム	ベンチフリューム止水材	参考重量(kg/個)
250	PQ4100	PQ4120	221
300	PQ4101	PQ4121	285
350	PQ4102	PQ4122	378
400	PQ4103	PQ4123	476
450	PQ4104	PQ4124	533
500	PQ4105	PQ4125	648
550	PQ4106	PQ4126	759
600	PQ4107	PQ4127	813
650	PQ4108	PQ4128	944

排水構造物工標準単価の選択

表 3

施工区分Ⅰ	規格Ⅰ	規格Ⅱ	時間的制約	施工区分Ⅱ	
				昼間施工	夜間施工
U型側溝	L=2000	1000kg/個以下	なし	A71103	A71253
			受ける	A71153	A71303
			著しく受ける	A71203	A71353

ロングベンチフレーム(4000 機械布設)	SR0001	—	施工単位	m
-----------------------	--------	---	------	---

補正係数の選択 (K2)

表 4

施工区分 I	規格 I	L=4000 を使用	K2
U 型側溝	L=2000	L=4000 を使用する	0.93

補正係数の選択 (K3)

表 5

施工区分 I	法面小段面	K3
U 型側溝	—	1.00
	法面小段面部における作業	1.21

補正係数の選択 (K4)

表 6

施工区分 I	法面縦排水	K4
U 型側溝	—	1.00
	法面縦排水部における作業	1.38

補正係数の選択 (K5 及び K6)

表 7

施工区分 I	施工区分	基礎碎石の施工有無	K5	K6
U 型側溝	再利用撤去を行わない	基礎碎石の施工無し	0.87	1.00
		基礎碎石の施工有り	1.00	1.00
	再利用撤去を行う	—	1.00	0.51

1 日当り作業量の選択

表 8

施工区分 I	規格 I	規格 II	1 日当り作業量
U 型側溝	L=2000	1000kg/個以下	43

基礎碎石の種別、規格の選択

表 9

基礎碎石の施工有無	基礎碎石の種別	規格	コード
基礎碎石の施工有り	切込砂利	—	J03301
	洗砂利	40 mm以下	J03002
	コンクリート碎石	40～5 mm	J03005
	クラッシャー	C-40 (JIS 規格品)	J03106
	碎石ダスト	0～2.5 mm	J03401
	高炉スラグ	CS-40	J03403
	再生クラッシャー	RC-40	J03118

基礎碎石ありの場合の断面積の入力

表 10

基礎碎石ありの場合の断面積 (m ²)	0
---------------------------------	---

選定条件

撤去の場合は、「0」を入力する。

単価 0 円区分 (基礎碎石材料) の選択

表 11

単価 0 円区分 (基礎碎石材料)	コード
あり	1
なし	0

選定条件

- 単価 0 円区分 (基礎碎石材料) を「あり」とした場合、「基礎碎石材料」の単価が 0 円となる。
- 基礎碎石を施工しない場合は、「あり」を選択する。

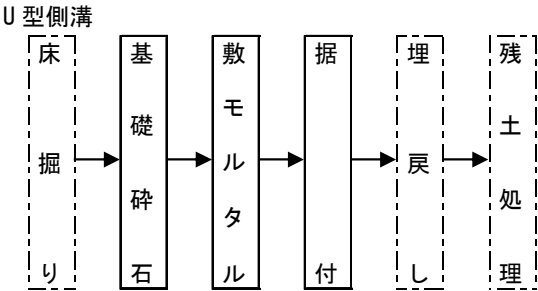
ロングベンチフレーム(4000 機械布設)	SR0001	—	施工単位	m
-----------------------	--------	---	------	---

ロングベンチフリューム(4000 機械布設)	SR0001	—	施工単位	m
------------------------	--------	---	------	---

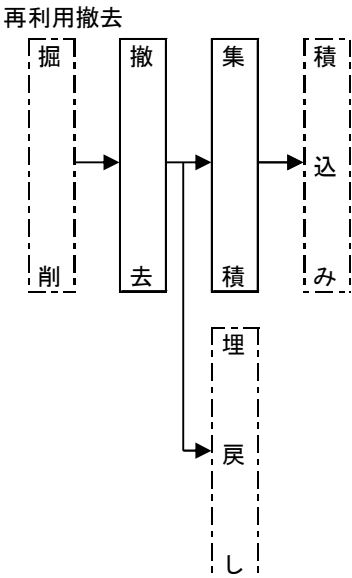
参 考

1. 施工範囲

この施工単価で対応しているのは以下のフロー図の実線部分であり、交通誘導警備員を必要とする場合は別途計上する。



- (注) 1. 敷モルタルの材料費（ロス含む）は含む。
2. 据付に必要なクレーンおよびカッターブレード、コンクリートカッター、目地モルタル、ロングベンチフリューム損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。
3. 基面整正は含まない。



- (注) 1. 基礎部分の撤去は含まない。
2. 現場内小運搬等の費用を含む。

2. 日当たり標準施工量

排水構造物工				
区分	規格・仕様		単位	日当たり標準施工量
U型側溝	L=2,000	1,000kg/個以下	m	43

3. 補正係数

補正係数の適用基準				
規格・仕様	記号	適用基準		備考
補正係数	L=4,000 を使用する場合	K ₂	使用する側溝本体の長さ（L）が 4,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	対象数量
	法面小段面	K ₃	法面小段面における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	
	法面縦排水	K ₄	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	

ロングベンチリウム(4000 機械布設)	SR0001	—	施工単位	m
----------------------	--------	---	------	---

基礎碎石を 施工しない場合	K ₅	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。
再利用撤去	K ₆	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。

補正係数の数値

区分		記号	U 型側溝
補 正 係 数	L=4,000 を 使用する場合	K ₂	0.93
	法面小段面	K ₃	1.21
	法面縦排水	K ₄	1.38
	基礎碎石を 施工しない場合	K ₅	0.87
	再利用撤去	K ₆	0.51

(注) L=4,000 を使用する場合の補正係数 (K₂) が補正の対象としているのは、U 型 L=2,000 であり、各々の個当たり質量を 2m に 換算し、適合する規格・仕様の単価を係数で補正する。

4. 直接工事費の算出

[設置]

直接工事費 = (設計単価^(注1) × 設計数量) + 材料費^(注2)

(注1) 設計単価 = 標準単価 × (K₂ × K₃ × K₄ × K₅ × K₆)

(注2) 材 料 費 = 側溝材料単価 × 設計数量 + 基礎碎石材料単価 × 設計数量 × 1.20 (ロス)

5. 適用にあたっての留意事項

- (1) 標準単価には、側溝本体・基礎碎石の材料費は含まない。
- (2) 側溝の設置、再利用撤去における施工方法（機械・人力）は問わない。
- (3) 移設時の設置工事にも適用できる。
- (4) 敷材としてモルタルに替えて砂を使用する場合にも適用できる。
- (5) 鋼製蓋版は、受枠の有無に関わらず適用できる。

時間的制約

工事施工に際して周辺地域の生活環境の保全、一般交通への影響、通勤通学時間帯の確保等、又は山間部（中山間地域を含む）等の現場条件により、作業時間に制約を受け、かつその制約が継続する場合に適用する。

時間的制約	作業時間
受ける	7 時間/日を超え 7.5 時間/日未満の制約を受ける場合
著しく受ける	4 時間/日以上 7 時間/日未満の制約を受ける場合

- (注) 1. 作業時間が 4 時間/日未満となる場合は、別途考慮するものとする。
2. ある特定の日のみ（例：毎週〇曜日）が制約を受ける場合は適用しない。
3. 作業時間の制約を受ける場所、区間の工事毎に補正すること。

関連施工単価

S05801 [排水構造物工]

底面転圧（ロングベンチフリューム用）	SR0002	—	施工単位	m ²
--------------------	--------	---	------	----------------

適用範囲	ロングベンチフリューム布設に伴う底面転圧に適用する。
規格	使用機械：振動コンパクタ 前進型 90kg級
摘要	1. この歩掛は、ロングベンチフリューム布設に伴う底面転圧以外には適用できない。 2. 雑品とは振動コンパクタ（前進型 90kg級）の損料および燃料、油脂費の費用である。
補助文内容	

施工単価構成内訳

500 m²当たり算出

名	称	規	格	コード	数	量	単位	単	価	備	考
(1)	特殊作業員			R01002	表 1		人	基 (C)			
(2)	雑品	10%		Y00004	0.10			(1)			
(3)	合計			Y00011						Σ (1) ~ (2)	
(4)	単価			Y00012	1.0		m ²			(3) / 500.0	

選定項目表

転圧区分（500 m²/1日当たり）

表 1

転圧区分	特殊作業員（人）
底面転圧	1.0

参考

この施工単価は、積算基準の盛土・埋戻歩掛（人力）の締固め作業のみ（振動コンパクタ（I））を参考に作成している。

ベンチフリューム用蓋版		SR0003	—	施工単位	枚
適用範囲	標準単価方式による排水構造物工（蓋版）に材料（蓋版本体）を加えた単価であり、ベンチフリューム蓋（L=1000mm）の設置または再利用撤去に適用する。 250型～650型（T-5）、250型～450型（T-14）				
規格摘要	1. 標準単価が適用できない範囲 (1) 再利用を目的としない蓋版本体の撤去工事。 (2) 地すべり防止施設および急傾斜崩壊対策施設における側溝の設置工事。 (3) その他、規格・仕様等が適合しない場合。				
補助文内容	材料の規格（荷重区分）、施工区分Ⅱ、時間的制約、法面小段面、施工区分				

施工単価構成内訳

1枚当たり算出

名	称	規	格	コード	数	量	単位	単	価	備	考
(1)	ベンチフリューム用蓋板	表 1		表 1	1.0		枚	基 基*基(DHT)*表 3*表 4		設置の時 Σ (1)～(2) (3)/1.0	
(2)	排水構造物工			表 2	1.0		枚				
(3)	合計			Y00011							
(4)	単価			Y00012	1.0		枚				
(5)	1日当たり作業量			Y00020	QD		枚				

選定項目表

製品規格の選択

表 1

材料の規格（荷重区分）	資材単価コード（P）	参考重量（kg）
250 型（T-5）	PQ4130	44
300 型（T-5）	PQ4131	56
350 型（T-5）	PQ4132	65
400 型（T-5）	PQ4133	81
450 型（T-5）	PQ4134	96
500 型（T-5）	PQ4135	113
550 型（T-5）	PQ4136	131
600 型（T-5）	PQ4137	149
650 型（T-5）	PQ4138	169
250 型（T-14）	PQ4140	64
300 型（T-14）	PQ4141	83
350 型（T-14）	PQ4142	106
400 型（T-14）	PQ4143	135
450 型（T-14）	PQ4144	155

排水構造物工標準単価の選択

表 2

施工区分Ⅰ	規格Ⅰ	規格Ⅱ	時間的制約	施工区分Ⅱ	
				昼間施工	夜間施工
蓋版	コンクリート・鋼製	40kg を超え 170kg/枚以下	なし	A71502	A71552
			受ける	A71504	A71554
			著しく受ける	A71506	A71556

補正係数の選択（K3）

表 3

施工区分Ⅰ	法面小段面	K3
蓋版	—	1.00

ベンチフリューム用蓋版	SR0003	—	施工単位	枚
-------------	--------	---	------	---

法面小段面部における作業	1.00
--------------	------

補正係数の選択 (K6)

表 4

施工区分 I	施工区分	基礎碎石の施工有無	K6
蓋版	設置	—	1.00
	再利用撤去	—	0.62

1 日当り作業量の選択

表 5

施工区分 I	規格 I	規格 II	1 日当り作業量
蓋版	コンクリート・鋼製	40kg を超え 170kg/枚以下	120

ベンチフリューム用蓋版	SR0003	—	施工単位	枚
-------------	--------	---	------	---

参 考

1. 施工範囲

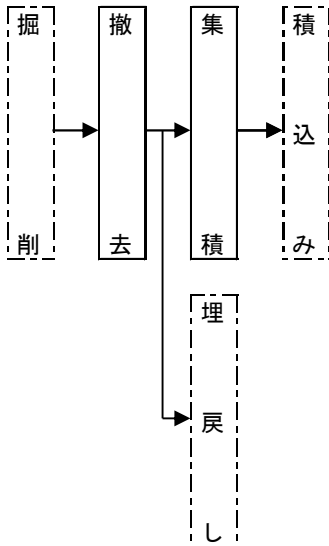
この施工単価で対応しているのは以下のフロー図の実線部分であり、交通誘導警備員を必要とする場合は別途計上する。

蓋版



(注) 1. 現場内小運搬等の費用を含む。

再利用撤去



(注) 1. 基礎部分の撤去は含まない。
2. 現場内小運搬等の費用を含む。

2. 日当たり標準施工量

排水構造物工

排水構造物工

区分	規格・仕様		単位	日当たり標準施工量
蓋版	コンクリート・鋼製	40 を超え 170kg/枚以下	枚	120

3. 補正係数

補正係数の適用基準

規格・仕様	記号	適用基準	備考
補正係数	法面小段面	K ₃	法面小段面における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。
	再利用撤去	K ₆	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。

補正係数の数値

	区分	記号	蓋版
補正係数	法面小段面	K ₄	1.00
	再利用撤去	K ₆	0.62

4. 直接工事費の算出

〔設置〕

直接工事費＝（設計単価^{（注1）}×設計数量）＋材料費^{（注2）}

（注1） 設計単価＝標準単価×（K₄×K₆）

（注2） 材 料 費＝蓋版材料単価×設計数量

5. 適用にあたっての留意事項

- （1） 標準単価には、蓋版の材料費は含まない。
- （2） 蓋版の設置、再利用撤去における施工方法（機械・人力）は問わない。
- （3） 移設時の設置工事にも適用できる。

時間的制約

工事施工に際して周辺地域の生活環境の保全、一般交通への影響、通勤通学時間帯の確保等、又は山間部（中山間地域を含む）等の現場条件により、作業時間に制約を受け、かつその制約が継続する場合に適用する。

時間的制約	作業時間
受ける	7時間/日を超え7.5時間/日未満の制約を受ける場合
著しく受ける	4時間/日以上7時間/日未満の制約を受ける場合

- （注）1. 作業時間が4時間/日未満となる場合は、別途考慮するものとする。
2. ある特定の日のみ（例：毎週○曜日）が制約を受ける場合は適用しない。
3. 作業時間の制約を受ける場所、区間の工事毎に補正すること。

関連施工単価

S05801 〔排水構造物工〕

アーム柵渠据付(人力)400×400 P=1.5m	SS0001	○	施工単位	m
---------------------------	--------	---	------	---

適用範囲	鉄筋コンクリート柵渠（400×400 P=1.5m A型およびB型）を人力により据付け作業に適用する。
規格摘要	1. 歩掛は、据付に伴う材料の移動手間を含む。 2. 据付の際の手動吊込み器具（チェンブロック、レバーブロック等）の損料は含まれる。 3. アーム間隔が1.5m未満の場合、あるいは現場条件が特に悪い場合は、適用できない。 4. 据付に伴う簡易な基面整正等を含む。このことから、水路の底版をコンクリート、栗石、または素掘床とする場合の基面整正は、別途計上する必要はない。 なお、機械掘削後の基面整正は、別途計上する。
補助文内容	柵渠型式の選択、柵渠1組当たりの実アーム間隔長(m/組)

施工単価構成内訳

100m当たり算出

名 称	規 格	コード	数 量	単 位	単 価	備 考
(1) 柵渠アーム	表 1	表 1	100/表 4	本	基	
(2) 切欠きパネル	表 2	表 2	200/表 4	枚	基	
(3) 標準パネル	表 3	表 3	200/表 4	枚	基	
(4) 世話役		R01001	表 6	人	基(C)	
(5) 普通作業員		R01003	表 6	人	基(C)	
(6) 合計		Y00011				Σ (1)～(5)
(7) 単価		Y00012	1.0	m		(4)/100.0
(8) 1日当たり作業量		Y00020		m		QD

選定項目表

柵渠の型式の選択

表 1

柵渠型式の選択	規 格 (mm)	コード	参考重量(kg)
A 型	400×400	PQ8600	30
B 型	400×400	PQ4540	49

A 型は、水路の通水断面内にアームが突出しているものである。

B 型は、水路の通水断面内に凸凹がないものである。

切欠きパネルの選択

表 2

柵渠型式の選択	規 格 (mm)	コード	参考重量(kg)
A 型	300×50×1495	PF1532	52
B 型	300×50×1415	PQ8840	49

標準パネルの選択

表 3

柵渠型式の選択	規 格 (mm)	コード	参考重量(kg)
A 型	200×50×1495	PF1527	35
B 型	200×50×1415	PF1623	44

柵渠 1 組当たりの実アーム間隔長の入力

表 4

柵渠 1 組当たりの実アーム間隔長(m/組)	0
------------------------	---

選定条件

小数点以下4位四捨五入、3位止りで入力する。

柵渠 1 組当たりアーム間隔の選択

表 5

柵渠 1 組当たりアーム間隔(m/組)	補正係数
1.5(m/組)	1.00

柵渠材料断面の規格の選択(100m 当たり)

表 6

柵渠材料断面の規格(m ²)	世話役(人)	普通作業員(人)
0.16 m ² 以下	3.0	12.0

ア-ム柵渠据付(人力) 400×400 P=1.5m

SS0001

○

施工単位

m

選定条件

1. 材料断面の規格(m²)=水路内高×天端内幅である。
2. 本表におけるア-ム間隔は、1.5mを標準とする。

能力算定式

1日当たり作業量は次の算定式による。

P : 基本給対象時間以内の作業時間

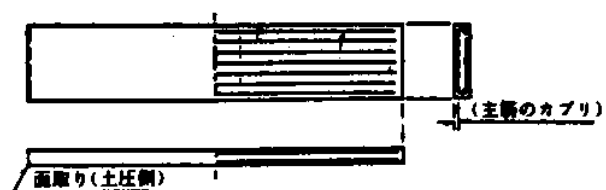
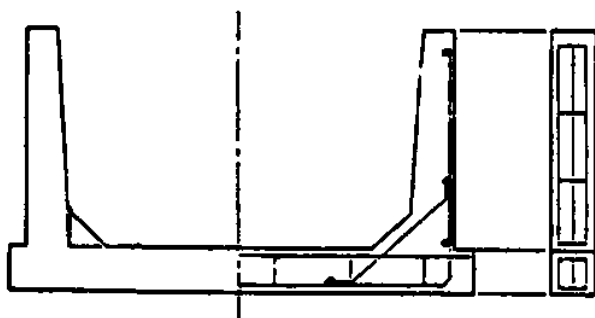
GR1 : 超勤割増対象作業時間

$\Sigma H = P + GR1$

$$QD = \frac{100}{\text{普通作業員(表6)/4.0}} \times \frac{1}{\text{補正係数(表5)}} \times \frac{\Sigma H}{8} \quad (\text{m/日})$$

※配置人員を4.0人で設定している。

参 考 図



関連施工単価

S05011 鉄筋コンクリート柵渠据付工(人力)

A型アーム柵渠据付(機械)			SS0002	▲	施工単位	m
適用範囲	鉄筋コンクリート柵渠（A型 P=1.5, 1.0m）を機械で据付ける作業に適用する。					
規格	A型は、水路の通水断面内にアームが突出しているものである。					
摘要	使用機械 バックホウ（クレーン機能付）排対型(2次) クローラ型 山積0.80m ³ (平積0.60m ³) 2.9t吊 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 2.9t吊 1. 歩掛りは、据付に伴う材料の移動時間を含む。 2. 据付に伴う簡易な基面整正等を含む。このことから、水路の底版をコンクリート、栗石、又は素掘床とする場合の基面整正は、別途計上する必要はない。 なお、機械掘削後の基面整正は、別途計上する。 3. バックホウ（クレーン機能付）は賃料とする。 4. バックホウ（クレーン機能付）は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠する機械である。					
補助文内容	柵渠1組当たりアーム間隔、柵渠高さの区分、柵渠幅の区分					

施工単価構成内訳

1日(Lm)当たり算出

名	称	規	格	コード	数	量	単位	単	価	備	考
(1)	アーム柵渠			表 1・1	L/表 5		本	基		P=1.5m の場合	
(1)	アーム柵渠			表 1・2	L/表 5		本	基		P=1.0m の場合	
(2)	切欠きパネ	表 3		表 3	L/表 5*表 3		枚	基			
(3)	標準パネ	表 4		表 4	L/表 5*表 4		枚	基			
(4)	世話役			R01001	1.0		人	基(D3)			
(5)	特殊作業員			R01002	1.0		人	基(D3)			
(6)	普通作業員			R01003	2.0		人	基(D3)			
(7)	バックホウ(クレーン機能付)			表 1・1	1.60		供用日	基(LE)		P=1.5mの場合	
(7)	バックホウ(クレーン機能付)			表 1・2	1.60		供用日	基(LE)		P=1.0mの場合	
(8)	運転手(特殊)			R01021	1.0		人	基(D2)			
(9)	軽油			P34029	ND		L	基			
(10)	合計			Y00011						Σ(1)～(9)	
(11)	単価			Y00012	1.0		m			(10)/L	
(12)	1日当たり作業量			Y00020			m			QD	

選定項目表

柵渠1組当たりアーム間隔の選択 表 1

柵渠1組当たりアーム間隔
1.5(m/組)
1.0(m/組)

アーム間隔による補正値の選択 表 2

柵渠1組当たりアーム間隔	補正係数
1.5(m/組)	1.00
1.0(m/組)	0.67

アーム間隔(P)が1.5mの場合

表 1・1

柵渠幅の区分	柵渠高さの区分											
	500			600			900			1200		
	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード
500	P13202	46	F08061	P13203	57	F08061	PQ4474	85	F08061	-	-	-
600	-	-	-	P13204	61	F08061	P13209	89	F08061	PQ4478	163	F08061

A型アーム柵渠据付(機械)							SS0002	▲	施工単位		m	
700	-	-	-	P13205	64	F08061	P13210	93	F08061	-	-	-
800	-	-	-	P13206	69	F08061	P13211	97	F08061	PQ4480	177	F08061
900	-	-	-	PF1492	72	F08061	PF1501	101	F08061	-	-	-
1000	-	-	-	P13207	75	F08061	P13212	105	F08061	P13219	190	F08061
1200	-	-	-	P13208	81	F08061	P13213	114	F08061	P13220	204	F08061
1300	-	-	-	-	-	-	P13214	118	F08061	-	-	-
1400	-	-	-	PF1494	89	F08061	PF1502	122	F08061	-	-	-
1500	-	-	-	PQ8615	97	F08061	P13215	126	F08061	P13222	224	F08061
1600	-	-	-	PF1497	101	F08061	P13216	131	F08061	P13223	231	F08061
1800	-	-	-	PF1498	108	F08061	P13217	139	F08061	P13224	245	F08061
2000	-	-	-	PF1499	122	F08061	P13218	148	F08061	P13225	258	F08061
2200	-	-	-	PF1500	130	F08061	-	-	-	-	-	-
2500	-	-	-	PQ4471	142	F08061	PF1504	170	F08061	PF1509	292	F08063
3000	-	-	-	PQ4472	162	F08061	PF1506	191	F08063	PF1510	326	F08063
3500	-	-	-	-	-	-	PQ4476	213	F08063	-	-	-
4000	-	-	-	-	-	-	PQ4477	232	F08063	-	-	-

アーム間隔 (P) が 1. 0m の場合

表 1-2

柵渠幅の区分	柵渠高さの区分											
	600			900			1200			1500		
	柵渠コード	参考重量 (kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量 (kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量 (kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量 (kg)	据付機械コード
500	P13203	57	F08061	PQ4474	85	F08061	-	-	-	-	-	-
600	P13204	61	F08061	P13209	89	F08061	PQ4478	163	F08061	-	-	-
700	P13205	64	F08061	P13210	93	F08061	-	-	-	-	-	-
800	P13206	69	F08061	P13211	97	F08061	PQ4480	177	F08061	-	-	-
900	PF1492	72	F08061	PF1501	101	F08061	-	-	-	-	-	-
1000	P13207	75	F08061	P13212	105	F08061	P13219	190	F08061	PQ8640	307	F08061
1200	P13208	81	F08061	P13213	114	F08061	P13220	204	F08061	PQ4486	324	F08061
1300	-	-	-	P13214	118	F08061	-	-	-	-	-	-
1400	PF1494	89	F08061	PF1502	122	F08061	-	-	-	-	-	-
1500	PQ8615	97	F08061	P13215	126	F08061	P13222	224	F08061	PF1514	350	F08061
1600	PF1497	101	F08061	P13216	131	F08061	P13223	231	F08061	-	-	-
1800	PF1498	108	F08061	P13217	139	F08061	P13224	245	F08061	PF1515	376	F08063
2000	PF1499	122	F08061	P13218	148	F08061	P13225	258	F08061	PF1516	393	F08063
2200	PF1500	130	F08061	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2500	PQ4471	142	F08061	PF1504	170	F08061	PF1509	292	F08063	-	-	-
3000	PQ4472	162	F08061	PF1506	191	F08063	PF1510	326	F08063	-	-	-
3500	-	-	-	PQ4476	213	F08063	-	-	-	-	-	-
4000	-	-	-	PQ4477	232	F08063	-	-	-	-	-	-

切欠きパールの選択 (柵渠 1 組当たり)

表 3

柵渠高さの区分	柵渠 1 組当たりアーム間隔					
	1. 5 (m/組)			1. 0 (m/組)		
	切欠きパールの規格	切欠きパールのコード	数 量 (枚)	切欠きパールの規格	切欠きパールのコード	数 量 (枚)
500	300 × 50 × 1495	PF1532	2	-	-	-
600	400 × 50 × 1495	PF1536	2	400 × 50 × 995	PF1534	2

A 型アーム柵渠据付(機械)	SS0002	▲	施工単位	m
----------------	--------	---	------	---

900	400×50×1495	PF1536	2	400×50×995	PF1534	2
1200	400×50×1495	PF1536	2	400×50×995	PF1534	2
1500	-	-	-	400×50×995	PF1534	2

標準パネルの選択（柵渠 1 組当たり）

表 4

柵渠高さの区分	柵渠 1 組当たりアーム間隔					
	1.5 (m/組)			1.0 (m/組)		
	標準パネルの規格	標準パネルのコード	数 量 (枚)	標準パネルの規格	標準パネルのコード	数 量 (枚)
500	300×50×1495	P13231	2	-	-	-
600	300×50×1495	P13231	2	300×50×995	P13227	2
900	300×50×1495	P13231	4	300×50×995	P13227	4
1200	300×50×1495	P13231	6	300×50×995	P13227	6
1500	-	-	-	300×50×995	P13227	8

柵渠 1 組当たりの実アーム間隔長の入力 表 5

柵渠 1 組当たりの実アーム間隔長 (m/組)	0
-------------------------	---

選定条件

小数点以下4位四捨五入、3位止りで入力する。

据付機械 長期割引単価区分(賃料機械)の選択 表 6

長期割引単価区分（機械賃料）	コード
あり	1
なし	0

選択条件

- ・賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

A型アーム柵渠据付(機械)	SS0002	▲	施工単位	m
---------------	--------	---	------	---

柵渠材料断面の規格 (㎡) 別による歩掛および施工量 (1日当たり)

柵渠材料断面の規格 (㎡)	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	施工量 L1(m)
0.16㎡以上 2.50㎡以下	1.0	1.0	2.0	26
2.50㎡を越え3.60㎡以下	1.0	1.0	2.0	26

柵渠材料断面の規格 (㎡) 別による据付機械

柵渠材料断面の規格 (㎡)	機種	規格	コード	燃料消費量 (L/日) : ND
0.16㎡以上 2.50㎡以下	バックホウ(クレーン機能付)	クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	F08061	57
2.50㎡を越え3.60㎡以下	バックホウ(クレーン機能付)	クローラ型山積0.80m3(平積0.60m3)	F08063	99

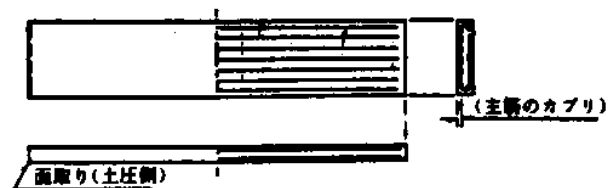
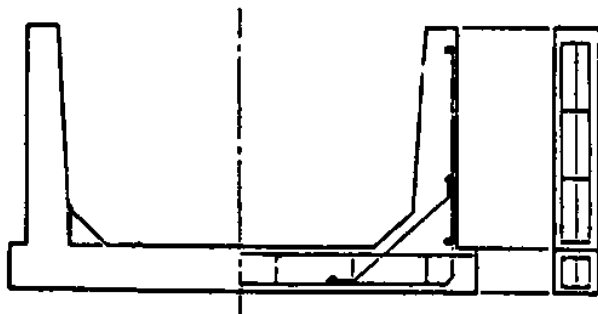
能力算定式

1日当たり作業量は次の算定式による。

$$L=L1 \times \text{表} 2 \times E \quad E=1.0$$

$$QD=L \quad (\text{m/日})$$

参 考 図



関連施工単価

S05012 鉄筋コンクリート柵渠据付工 (機械)

B型アーム柵渠据付(機械)			SS0003	▲	施工単位	m
適用範囲	鉄筋コンクリート柵渠（B型 P=1.5, 1.0m）を機械で据付ける作業に適用する。					
規格	B型は、水路の通水断面内に凹凸がないものである。 使用機械 バックホウ（クレーン機能付）排対型(2次) クローラ型 山積0.80m3(平積0.60m3) 2.9t吊 山積0.45m3(平積0.35m3) 2.9t吊					
摘要	1. 歩掛りは、据付に伴う材料の移動手間を含む。 2. 据付に伴う簡易な基面整正等を含む。このことから、水路の底版をコンクリート、栗石、又は素掘床とする場合の基面整正は、別途計上する必要はない。 なお、機械掘削後の基面整正は、別途計上する。 3. バックホウ（クレーン機能付）は賃料とする。 4. バックホウ（クレーン機能付）は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠する機械である。					
補助文内容	柵渠1組当たりアーム間隔, 柵渠高さの区分, 柵渠幅の区分					

施工単価構成内訳

1日(Lm)当たり算出

名	称	規	格	コード	数	量	単位	単	価	備	考
(1)	アーム柵渠	表 3 表 4		表 1・1	L/表 5		本	基		P=1.5m の場合	
(1)	アーム柵渠			表 1・2	L/表 5		本	基		P=1.0m の場合	
(2)	切欠きパネ			表 3	L/表 5*表 3		枚	基			
(3)	標準パネ			表 4	L/表 5*表 4		枚	基			
(4)	世話役			R01001	1.0		人	基(D3)			
(5)	特殊作業員			R01002	1.0		人	基(D3)			
(6)	普通作業員			R01003	2.0		人	基(D3)			
(7)	バックホウ(クレーン機能付)			表 1・1	1.60		供用日	基(LE)		P=1.5mの場合	
(7)	バックホウ(クレーン機能付)			表 1・2	1.60		供用日	基(LE)		P=1.0mの場合	
(8)	運転手(特殊)			R01021	1.0		人	基(D2)			
(9)	軽油			P34029	ND		L	基			
(10)	合計			Y00011						Σ(1)～(9)	
(11)	単価			Y00012	1.0		m			(10)/L	
(12)	1日当たり作業量			Y00020			m			QD	

選定項目表

柵渠1組当たりアーム間隔の選択 表 1

柵渠1組当たりアーム間隔
1.5(m/組)
1.0(m/組)

アーム間隔による補正値の選択 表 2

柵渠1組当たりアーム間隔	補正係数
1.5(m/組)	1.00
1.0(m/組)	0.67

アーム間隔(P)が1.5mの場合

表 1・1

柵渠幅の区分	柵渠高さの区分											
	500			600			900			1200		
	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード

B型アーム柵渠据付(機械)							SS0003	▲	施工単位	m		
500	PF1574	58	F08061	PQ4543	69	F08061	PQ4545	120	F08061	-	-	-
600	-	-	-	PF1577	73	F08061	PQ4546	126	F08061	PQ4549	172	F08061
700	-	-	-	PF1578	78	F08061	PQ4547	132	F08061	-	-	-
800	-	-	-	PF1579	82	F08061	PF1592	138	F08061	PQ4551	186	F08061
900	-	-	-	PF1581	87	F08061	PF1594	144	F08061	-	-	-
1000	-	-	-	PF1582	91	F08061	PF1595	150	F08061	PF1608	200	F08061
1200	-	-	-	PF1583	100	F08061	PF1596	162	F08061	PF1609	214	F08061
1400	-	-	-	PF1584	109	F08061	PF1598	174	F08061	PF1610	228	F08061
1500	-	-	-	PQ4544	114	F08061	PQ8785	181	F08061	PQ8790	235	F08061
1600	-	-	-	PF1585	118	F08061	PF1600	187	F08061	PF1612	242	F08061
1800	-	-	-	PF1586	127	F08061	PF1601	199	F08061	PF1613	257	F08061
2000	-	-	-	PF1587	136	F08061	PF1602	211	F08061	PF1614	271	F08061
2200	-	-	-	PF1588	145	F08061	PF1603	224	F08061	-	-	-
2500	-	-	-	PF1589	159	F08061	PF1604	242	F08061	PF1616	307	F08063
3000	-	-	-	PF1590	181	F08061	PF1605	273	F08063	PF1617	343	F08063
3500	-	-	-	-	-	-	PF1606	304	F08063	-	-	-
4000	-	-	-	-	-	-	PF1607	334	F08063	-	-	-

アーム間隔（P）が1.0mの場合

表 1・2

柵渠幅の区分	柵渠高さの区分											
	600			900			1200			1500		
	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード	柵渠コード	参考重量(kg)	据付機械コード
500	PQ4543	69	F08061	PQ4545	120	F08061	-	-	-	-	-	-
600	PF1577	73	F08061	PQ4546	126	F08061	PQ4549	172	F08061	-	-	-
700	PF1578	78	F08061	PQ4547	132	F08061	-	-	-	-	-	-
800	PF1579	82	F08061	PF1592	138	F08061	PQ4551	186	F08061	-	-	-
900	PF1581	87	F08061	PF1594	144	F08061	-	-	-	-	-	-
1000	PF1582	91	F08061	PF1595	150	F08061	PF1608	200	F08061	PQ4552	258	F08061
1200	PF1583	100	F08061	PF1596	162	F08061	PF1609	214	F08061	PQ4553	275	F08061
1400	PF1584	109	F08061	PF1598	174	F08061	PF1610	228	F08061	-	-	-
1500	PQ4544	114	F08061	PQ8785	181	F08061	PQ8790	235	F08061	PQ4554	300	F08061
1600	PF1585	118	F08061	PF1600	187	F08061	PF1612	242	F08061	-	-	-
1800	PF1586	127	F08061	PF1601	199	F08061	PF1613	257	F08061	PQ4555	324	F08063
2000	PF1587	136	F08061	PF1602	211	F08061	PF1614	271	F08061	PQ4556	341	F08063
2200	PF1588	145	F08061	PF1603	224	F08061	-	-	-	-	-	-
2500	PF1589	159	F08061	PF1604	242	F08061	PF1616	307	F08063	-	-	-
3000	PF1590	181	F08061	PF1605	273	F08063	PF1617	343	F08063	-	-	-
3500	-	-	-	PF1606	304	F08063	-	-	-	-	-	-
4000	-	-	-	PF1607	334	F08063	-	-	-	-	-	-

切欠きパールの選択（柵渠1組当たり）

表 3

柵渠高さの区分	柵渠1組当たりアーム間隔					
	1.5(m/組)			1.0(m/組)		
	切欠きパールの規格	切欠きパールのコード	数量(枚)	切欠きパールの規格	切欠きパールのコード	数量(枚)
500	300×50×1415	PQ8840	2	-	-	-
600	400×50×1415	PF1631	2	400×50×915	PF1630	2

B型アーム柵渠据付(機械)	SS0003	▲	施工単位	m
---------------	--------	---	------	---

900	400×50×1415	PF1631	2	400×50×915	PF1630	2
1200	400×50×1415	PF1631	2	400×50×915	PF1630	2
1500	-	-	-	400×50×915	PF1630	2

標準パネルの選択（柵渠 1 組当たり）

表 4

柵渠高さの区分	柵渠 1 組当たりアーム間隔					
	1.5 (m/組)			1.0 (m/組)		
	標準パネルの規格	標準パネルのコード	数量 (枚)	標準パネルの規格	標準パネルのコード	数量 (枚)
500	300×50×1415	PF1626	2	-	-	-
600	300×50×1415	PF1626	2	300×50×915	PF1625	2
900	300×50×1415	PF1626	4	300×50×915	PF1625	4
1200	300×50×1415	PF1626	6	300×50×915	PF1625	6
1500	-	-	-	300×50×915	PF1625	8

柵渠 1 組当たりの実アーム間隔長の入力 表 5

柵渠 1 組当たりの実アーム間隔長 (m/組)	0
-------------------------	---

選定条件

小数点以下4位四捨五入、3位止りで入力する。

据付機械 長期割引単価区分(賃料機械)の選択 表 6

長期割引単価区分（機械賃料）	コード
あり	1
なし	0

選択条件

- ・賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

B型アーム柵渠据付(機械)	SS0003	▲	施工単位	m
---------------	--------	---	------	---

柵渠材料断面の規格（㎡）別による歩掛および施工量（1日当たり）

柵渠材料断面の規格（㎡）	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	施工量 L1(m)
0.16㎡以上 2.50㎡以下	1.0	1.0	2.0	26
2.50㎡を越え3.60㎡以下	1.0	1.0	2.0	26

柵渠材料断面の規格（㎡）別による据付機械

柵渠材料断面の規格（㎡）	機種	規格	コード	燃料消費量 (L/日) : ND
0.16㎡以上 2.50㎡以下	バックホウ(クレーン機能付)	クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3)	F08061	57
2.50㎡を越え3.60㎡以下	バックホウ(クレーン機能付)	クローラ型山積0.80m3(平積0.60m3)	F08063	99

能力算定式

1日当たり作業量は次の算定式による。

$$L=L1 \times \text{表2} \times E \quad E=0.9$$

$$QD=L \quad (\text{m/日})$$

関連施工単価

S05012 鉄筋コンクリート柵渠据付工（機械）

一筆高低測量	ST0001	—	施工単位	ha
--------	--------	---	------	----

適用範囲	一筆高低測量を行う場合に適用する。
規格摘要	1. 1ha当たり20測点を標準とする。
補助文内容	

施工単価構成内訳 100ha 当たり算出

名	称	規	格	コード	数	量	単位	単	価	備	考
(1)	測量業務技師	外業		R04023	32.0		人	基	(D2)		
(2)	測量業務技師	内業		R04023	13.0		人	基	(D2)		
(3)	測量業務技師補	外業		R04024	36.0		人	基	(D2)		
(4)	測量業務技師補	内業		R04024	11.0		人	基	(D2)		
(5)	測量業務助手	外業		R04025	28.0		人	基	(D2)		
(6)	測量業務助手	内業		R04025	5.0		人	基	(D2)		
(7)	機械経費			Y00004	0.025			Σ	(1)～(6)		
(8)	材料費			Y00004	0.030			Σ	(1)～(6)		
(9)	合計			Y00011						Σ	(1)～(8)
(10)	単価			Y00012	1.0		ha			(9) * (1+表 2+表 4) / 100	
(11)	精度管理費			Y70001	0.10			Σ	(1)～(7)	明細には補正後の値で算出される	

選定項目表

地形区分及び地物区分の選択 表 1

地形区分	地物区分						
	大市街地	市街地(甲)	市街地(乙)	都市近郊	耕地	原野	森林
平地	1.0	0.4	0.3	0.2	0.0	0.2	0.3
丘陵地	—	—	0.5	0.3	0.1	0.3	0.4
低山地	—	—	—	—	0.2	0.4	0.6
高山地	—	—	—	—	—	0.5	0.7

選定条件 標準作業は、地形区分：平地 地物区分：耕地

特殊地形の補正 表 2

特殊地形の補正值	0
----------	---

選定条件 特殊地形の変化率は、地形、地物の異なる地域が混在する場合で、各地域の路線長さを
用いた加重平均(小数点3位四捨五入、小数点2位止め)による。
地形・地物の混在を考慮しない場合は表1の値を適用する。

現道上交通量の選定 表 3

現場条件	変化率
3,000 台以上/12 時間	0.2
1,000 台以上～3,000 台未満/12 時間	0.1
1,000 台未満/12 時間	0.0

選定条件 標準は、1,000台未満/12時間である。

特殊交通条件による補正 表 4

特殊交通条件による補正值	0
--------------	---

選定条件 特殊交通条件の補正值は、現場条件の異なる地域が混在する場合で、各路線長の
加重平均(小数点3位四捨五入、小数点2位止め)による。
現場条件の混在を考慮しない場合は表1の値を適用する。

一筆高低測量	ST0001	—
--------	--------	---

施工単位	ha
------	----

参考データ

縦断測量 S61019 を以下のように換算する。

縦断測量の測点間隔 20m では 1Km 当たりの測点数は 50 点であり、20m メッシュで
現況区画内の一筆高低測量を実施する場合、100ha 当たりの測点数は、2000 点である。

- ・ 測点数による歩掛補正は、 $2000 \text{ 点} \div 50 \text{ 点} (1000\text{m} \div 20\text{m} \text{ ピッチ}) = 40 \text{ 倍}$
- ・ 作業が片道のため、作業量による補正は $1 \div 2 \text{ 倍}$
- ・ 内業の図面等作成が不要となるため、同様に $1 \div 2 \text{ 倍}$

よって外業： $40 \times 1 \div 2 = 20 \text{ 倍}$

内業： $40 \times 1 \div 2 \times 1 \div 2 = 10 \text{ 倍}$

打合せ（測量業務基準日額）	ST0002	—	施工単位	回
---------------	--------	---	------	---

適用範囲 規格 摘要	測量業務の打合せに適用する。
補助文内容	打合せ内容

施工単価構成内訳

1 回当たり算出

名	称	規	格	コード	数	量	単位	単	価	備	考
(1)	測量主任技師			R04022	表 5*(表 9+表 10)		人	基 (D2)			
(2)	測量技師			R04023	表 6*(表 9+表 10)		人	基 (D2)			
(3)	測量技師補			R04024	表 7*(表 9+表 10)		人	基 (D2)			
(4)	測量助手			R04025	表 8*(表 9+表 10)		人	基 (D2)			
(5)	合計			Y00011						Σ (1) ~ (4)	
(6)	単価			Y00012	1.0		回			(5)/1.0	

選定項目表

打合せ内容の選択／測量主任技師

表 1

打合せ内容	測量主任技師配置人数
着手前・最終	1
中間	1

測量技師

表 2

打合せ内容	測量技師配置人数
着手前・最終	1
中間	0

測量技師補

表 3

打合せ内容	測量技師補配置人数
着手前・最終	0
中間	1

測量助手

表 4

打合せ内容	測量助手配置人数
着手前・最終	0
中間	0

測量主任技師人数の入力

表 5

測量主任技師人数	0
----------	---

測量技師人数の入力

表 6

測量技師人数	0
--------	---

測量技師補人数の入力

表 7

測量技師補人数	0
---------	---

測量助手人数の入力

表 8

測量助手人数	0
--------	---

打合せに要する日数の入力

表 9

打合せ日数	0.5
-------	-----

入力条件

打合せ（測量業務基準日額）	ST0002	—	施工単位	回
---------------	--------	---	------	---

・0.5日単位で計上する。

往復移動に要する日数の入力 表 10

往復移動日数	0
--------	---

入力条件

・0.5日単位で計上する。

資機材等の運搬費		SV0001	▲	施工単位	日
適用範囲	調査業務における資機材等の現地搬入・搬出、および、現場内小運搬に適用する。				
規格	使用機械 トラック〔クレーン装置付〕 ベースマシン 2t級 2.9t吊 トラック〔クレーン装置付〕 ベースマシン 3～3.5t級 2.9t吊 トラック〔クレーン装置付〕 ベースマシン 4～4.5t級 2.9t吊				
摘要	1. ボーリング用資機材等の搬入、搬出は、2t、3～3.5t、4～4.5tの2.9t吊りクレーン付きトラックによる運搬を標準（ボーリング用資材1編成分）とするが、これによりがたい場合は別途考慮する。 2. 運搬距離は往路、復路の合計とする。 3. クレーン付きトラックにより現場内小運搬を行う場合も適用できる。 4. 搬入・搬出および現場内小運搬の作業日が複数となる場合は、必要な日数を明細計上する。 5. 運搬に付随する積込み、積卸しを含む。（1作業日内の複数回の積込み、積卸しを含む）				
補助文内容	作業区分、運搬機械区分				

施工単価構成内訳

1日当たり算出

名	称	規	格	コード	数	量	単位	単	価	備	考
(1)	運転手(特殊)			R01021	(1/T)*表3		人	基(D2)			
(2)	軽油			P34029	NH*表3		L	基			
(3)	トラック[クレーン装置付]	運転時間当り	損料	表2	表3		時間	基(YYJ)		算定表9欄	
(4)	トラック[クレーン装置付]	供用日当り	損料	表2	表4		日	基(YYK5)		算定表11欄	
(5)	合計			Y00011						Σ(1)～(4)	
(6)	単価			Y00012	1.0		日			(5)/1.0	

選定項目表

作業区分の選択

表1

作業区分
現地搬入・搬出
現地搬入・搬出・現場内小運搬
現場内小運搬(現地への移動時間含)

運搬機械の選定

表2

運搬機械区分	コード
2t級 2.9t吊	M03102
3～3.5t級 2.9t吊	M03105
4～4.5t級 2.9t吊	M03104

往復所要時間(T1)の入力

表3

往復所要時間	1
--------	---

入力条件

- 往復運搬距離は、表1のどの作業区分においても、30kmを標準とする。
- 往復所要時間(時間)：T1は、往復運搬距離(km)÷(30km/h)：小数点以下第3位四捨五入2位止めで入力する。

作業日1日当り供用日

表4

作業日1日当り供用日	1.23
------------	------

資機材等の運搬費	SV0001	▲	施工単位	日
----------	--------	---	------	---

算定式

労務費：運転手(特殊) (人) = (1/T) × T1
 材料費：軽油 (L) = NH × T1
 T：[年間標準運転時間]÷[年間標準運転日数]
 NH：[運転1時間当たり燃料消費量(L/h)]
 T1：往復所要時間(時間)

1. 歩掛根拠 農林水産省 土地改良工事積算基準(調査・測量・設計) 調査・測量・設計業務等に関する運用事項

敷鉄板(小運搬)		SY0003	▲	施工単位	ton
適用範囲	敷鉄板の小運搬に適用する。 敷鉄板の設置・撤去については別途計上する。 本歩掛は「参考歩掛」とするため、内容および条件等を十分に確認して適用すること。				
規格	使用機械 トラック 4t車 トラック 11t車				
摘要	1. 片道運搬距離が15.0km以下に適用する。なお、片道運搬距離が15.0kmを超える場合は別途考慮する。				
補助文内容	運搬機械区分, 敷鉄板撤去・設置時間(分/枚:T1), 実質量(t/枚), 運搬時間(分:T2)				

施工単価構成内訳

1 時間(SANton) 当たり算出

名 称	規 格	コード	数 量	単 位	単 価	備 考
(1) トラック		表 1	1.0	時間	基(YSH2)	
(2) 軽油		P34029	NH	L	基	
(3) 運転手(一般)		R01022	0.14	人	基(D2)	
(4) 合計		Y00011				Σ(1)~(3)
(5) 単価		Y00012	1.0	ton		((4)/N)/表3)
(6) 日当たり作業量		Y00020	QD	ton		

選定項目表

運搬機械区分の選択

表 1

運搬機械区分	コード	積載重量(ton:X)
トラック 4~4.5t 積	M03084	4
トラック 11t 積	M03087	11

敷鉄板の撤去・設置時間(T1)の入力(分/枚)

表 2

敷鉄板撤去・設置時間(分/枚:T1)	12.9
--------------------	------

標準所要時間(T1)

敷鉄板寸法 22×1524×6096

撤去 1.4日/1000m²÷1000m²=0.0014日/m²
0.0014日/m²×(1.524×6.096)m²/枚=0.0130日/枚
0.0130日/枚×8h/日×60min/h=6.24min/枚
設置 1.5日/1000m²÷1000m²=0.0015日/m²
0.0015日/m²×(1.524×6.096)m²/枚=0.0139日/枚
0.0139日/枚×8h/日×60min/h=6.67min/枚
設置・撤去 6.24min/枚+6.67min/枚=12.91min/枚
(敷鉄板設置・撤去工参照)

敷鉄板1枚当たりの実質量(W)の入力(t/枚)

表 3

実質量(t/枚)	1.6
----------	-----

選定条件

1. 小数点以下3位四捨五入2位止まりで入力する。
参考 1.604t/枚(22×1524×6096)

トラック1台当たりの運搬時間(T2)の入力(分)

表 4

運搬時間(分:T2)	0
------------	---

選定条件

1. 参考表5を参照

能力算定式

1. 1時間当たり標準施工量は下記により算定している。(小数点以下2位四捨五入1位止まり)

$$N(\text{枚/時間}) = \frac{60 \times n}{(n \times T1) + T2}$$

N : 1時間当たり運搬作業量(枚/時間)

n : トラック1台当たり敷鉄板積載枚数(枚)

nは敷鉄板寸法、質量及びトラックの荷台寸法、積載質量を考慮して決定するが、一般の場合は下記による。

$$n = X / W \quad (\text{小数点以下切り捨て})$$

X : トラック積載重量 (t)

(最大積載量=車両総重量-車両重量+乗車定員×55÷11ton or 4ton)

W : 敷鉄板1枚当りの質量(実質量)(表3) (t)

T1 : 敷鉄板1枚当りの撤去・設置時間(表2) (min)

T2 : トラック1台当りの運搬時間(表4) (min)

参考表5 トラック等1台当りの運搬時間(T2)(min)

片道運搬距離(km)	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下
運搬時間(min)	2	3	5	6	8
片道運搬距離(km)	3.0km以下	3.5km以下	4.0km以下	4.5km以下	5.0km以下
運搬時間(min)	10	11	13	14	16
片道運搬距離(km)	5.5km以下	6.0km以下	6.5km以下	7.0km以下	7.5km以下
運搬時間(min)	18	19	21	23	24
片道運搬距離(km)	8.5km以下	9.5km以下	10.5km以下	11.5km以下	12.5km以下
運搬時間(min)	25	28	31	35	38
片道運搬距離(km)	14.0km以下	15.0km以下			
運搬時間(min)	41	46			

(注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。
2. 片道運搬距離が15kmを超える場合は別途考慮すること。

2. 1時間当たり作業量(SAN)は次式による。

$$SAN = N \times W$$

3. 1日当たり作業量(QD)は次式による。

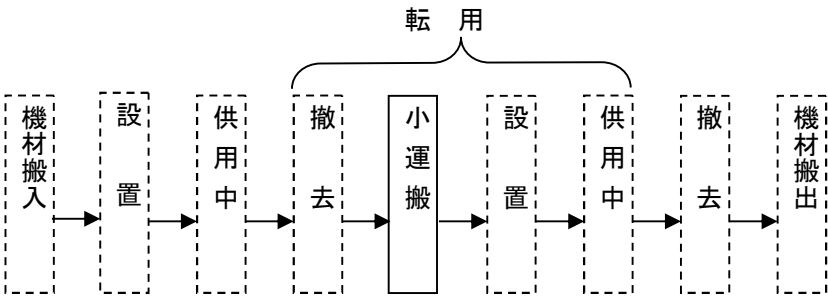
$$QD = N \times W \times T$$

敷鉄板（小運搬）	SY0003	▲
----------	--------	---

施工単位	ton
------	-----

参考

1. 施工フローは下記のとおりとする。



（注） 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

1. 関連施工単価 S06022 消波根固めブロック工(運搬)：施工パッケージ単価移行に伴い廃止
 S18054 敷鉄板設置・撤去工

SP コンクリート	SQA001	—	施工単位	m3
-----------	--------	---	------	----

適用範囲	一般的な構造物（無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物）の人力及び機械によるコンクリート打設に適用する。
規格	使用機械 コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力 90～110 m³/h ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排対型（1次）16t 吊、20t 吊、35t 吊 油圧伸縮ジブ型・排対型（2014年規制）25t 吊 クローラークレーン 油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 50t 吊 ジェットヒータ 126MJ/h（30、100kcal/h） バックホウ 標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2011年規制） 山積 0.8m³（平積 0.6m³）・2.9t 吊
摘要	1. 一般的な構造物（無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物）のコンクリート打設、締固め、打継ぎ目処理、表面仕上、養生、15m以下の人力運搬車による現場内小運搬（人力打設で、現場内小運搬「有り」の場合）、シュート、コンクリートバイブレータ、コンクリートバケット損料、電力に関する経費、ホースの筒先作業等を行う機械付補助作業（コンクリートポンプ車打設の場合）、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛け作業等を行う機械付補助作業（クレーン車打設及びバックホウ（クレーン機能付）打設の場合）等、その施工に要するすべての費用を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、無筋構造物が+0.07、鉄筋構造物が+0.03、小型構造物が+0.06とする。 3. 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設において、コンクリートポンプ車圧送のコンクリートのスランプ値は8～12cm、粗骨材の最大寸法は40mm以下とする。 4. 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設において、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合は、超えた部分について圧送管延長距離を積算条件区分から選択する。この場合、圧送管の日々組立・撤去費用及び圧送管の損料を含む。なお、圧送管の固定足場（受枠）を必要とする場合は、別途計上する。 5. 無筋・鉄筋構造物バックホウ（クレーン機能付）打設及び小型構造物バックホウ（クレーン機能付）打設のバケット容量はV=0.3m³を標準とする。 6. 小型構造物クレーン車打設において、クローラークレーンを使用する場合は、現場条件から打設高さを検討し、適当なブーム長さを設定する。 7. 小型構造物クレーン車打設のバケット容量は、V=0.6m³を標準とする。 8. 特殊養生は、寒中コンクリートの養生に適用する。なお、養生方法は給熱養生を標準とし、鉄筋構造物はジェットヒータ養生、鉄筋構造物以外は練炭養生を原則とする。また、異形ブロック製作における養生は適用しない。養生のための足場は別途計上とする。 （注）「材料規格の変更」を行った後、各条件値を変更すると、変更した材料が元に戻るの で、再設定を行うこと。
補助文内容	構造物種別、打設工法、設計日打設量、養生工の種類、圧送管延長距離区分、現場内小運搬の有無、打設高さ、水平打設距離、長期割引単価区分、規格区分

代表機材規格

項 目	代表機材規格	単価コード	基礎単価式
機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊	F01084 基 (LE)
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	F01085 基 (LE)
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・～低騒音・排出ガス対	F01086 基 (LE)

SP コンクリート	SQA001	—	施工単位	m3
-----------	--------	---	------	----

項 目	代表機材規格	単価コード	基礎単価式
	策型(2014年規制)] 25t 吊		
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	F01087	基(LE)
	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 50t 吊	F01106	基(LE)
	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	F06041	基(LE)
	バックホウ(クロー型) [標準型・～超低騒音・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	F08063	基(LE)
	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力90～110m3/h	M15166	基(KY)
	K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	F06041	基(LE)
	K3 —		
労務	R1 特殊作業員	R01002	基(D3)
	普通作業員	R01003	基(D3)
	R2 土木一般世話役	R01001	基(D3)
	特殊作業員	R01002	基(D3)
	普通作業員	R01003	基(D3)
	R3 土木一般世話役	R01001	基(D3)
	特殊作業員	R01002	基(D3)
	運転手(特殊)	R01021	基(D2)
	R4 土木一般世話役	R01001	基(D3)
	運転手(特殊)	R01021	基(D2)
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%	J02130	基
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	P34007	基
	軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z3 軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z4 —		
市場単価	S —		

選定項目

構造物種別

構造物種別
無筋・鉄筋構造物
小型構造物

打設工法

打設工法
クレーン車打設
コンクリートポンプ車打設
バックホウ(クレーン機能付)打設
人力打設

設計日打設量

SP コンクリート	SQA001	—
-----------	--------	---

施工単位	m3
------	----

設計日打設量
10m3 以上 100m3 未満
100m3 以上 500m3 未満
—

養生工の種類

養生工の種類
養生無し
一般養生
特殊養生(練炭、ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)
特殊養生(練炭)
特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)

圧送管延長距離区分

圧送管延長距離区分
延長無し
60m 以下
60m を超え 120m 以下
120m を超え 180m 以下
180m を超え 240m 以下
240m 以下
—

現場内小運搬の有無

現場内小運搬の有無
—
有り
無し

打設高さ、水平打設距離

打設高さ、水平打設距離
—
高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下
高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下
高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下
高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下
水平打設距離約 30m 以下

選定項目表

コンクリート規格の選択

表 6

種類区分	規格区分	水セメント比区分	単価コード
生コンクリート（高炉 B）	18-5-25	W/C=60%以下	J02053
	18-8-25	W/C=60%以下	J02054
	18-12-25	W/C=60%以下	J02056

SP コンクリート	SQA001	—	施工単位	m3
-----------	--------	---	------	----

コンクリート規格の選択

表 6

種類区分	規格区分	水セメント比区分	単価コード
	18-15-25	W/C=60%以下	J02057
	18-5-40	W/C=60%以下	J02059
	18-8-40	W/C=60%以下	J02060
	18-12-40	W/C=60%以下	J02062
	18-15-40	W/C=60%以下	J02063
	21-8-25	W/C=55%以下	J02065
	21-12-25	W/C=55%以下	J02067
	21-15-25	W/C=55%以下	J02068
	21-8-40	W/C=55%以下	J02071
	21-12-40	W/C=55%以下	J02073
	21-15-40	W/C=55%以下	J02074
	24-8-25	W/C=55%以下	J02075
	24-12-25	W/C=55%以下	J02077
	24-15-25	W/C=55%以下	J02078
	24-8-40	W/C=55%以下	J02081
	24-12-40	W/C=55%以下	J02083
	24-15-40	W/C=55%以下	J02084
	27-8-25	W/C=55%以下	J02086
	27-12-25	W/C=55%以下	J02087
	27-15-25	W/C=55%以下	J02088
	27-8-40	W/C=55%以下	J02090
	27-12-40	W/C=55%以下	J02091
	27-15-40	W/C=55%以下	J02092
	30-8-25	W/C=55%以下	J02094
	30-12-25	W/C=55%以下	J02095
	30-15-25	W/C=55%以下	J02096
	30-8-40	W/C=55%以下	J02098
	30-12-40	W/C=55%以下	J02099
	30-15-40	W/C=55%以下	J02100
	36-8-25	W/C=55%以下	J02101
	36-12-25	W/C=55%以下	J02102
	36-8-40	W/C=55%以下	J02103
	36-12-40	W/C=55%以下	J02104
生コンクリート（普通）	18-5-25	W/C=60%以下	J02001
	18-8-25	W/C=60%以下	J02002
	18-12-25	W/C=60%以下	J02004
	18-15-25	W/C=60%以下	J02005
	18-5-40	W/C=60%以下	J02007
	18-8-40	W/C=60%以下	J02008
	18-12-40	W/C=60%以下	J02010
	18-15-40	W/C=60%以下	J02011
	21-8-25	W/C=55%以下	J02013

SP コンクリート	SQA001	—	施工単位	m3
-----------	--------	---	------	----

コンクリート規格の選択

表 6

種類区分	規格区分	水セメント比区分	単価コード
	21-12-25	W/C=55%以下	J02015
	21-15-25	W/C=55%以下	J02016
	21-8-40	W/C=55%以下	J02019
	21-12-40	W/C=55%以下	J02021
	21-15-40	W/C=55%以下	J02022
	24-8-25	W/C=55%以下	J02023
	24-12-25	W/C=55%以下	J02025
	24-15-25	W/C=55%以下	J02026
	24-8-40	W/C=55%以下	J02029
	24-12-40	W/C=55%以下	J02031
	24-15-40	W/C=55%以下	J02032
	27-8-25	W/C=55%以下	J02034
	27-12-25	W/C=55%以下	J02035
	27-15-25	W/C=55%以下	J02036
	27-8-40	W/C=55%以下	J02038
	27-12-40	W/C=55%以下	J02039
	27-15-40	W/C=55%以下	J02040
	30-8-25	W/C=55%以下	J02042
	30-12-25	W/C=55%以下	J02043
	30-15-25	W/C=55%以下	J02044
	30-8-40	W/C=55%以下	J02046
	30-12-40	W/C=55%以下	J02047
	30-15-40	W/C=55%以下	J02048
	36-8-25	W/C=55%以下	J02049
	36-12-25	W/C=55%以下	J02050
	36-8-40	W/C=55%以下	J02051
	36-12-40	W/C=55%以下	J02052
各種	各種 (24-8-25)	—	J02128

選択条件

- ・表記以外の材料を使用する場合は「各種」を選択し、材料規格の変更を行う。
- ・「各種」は材料規格の変更を行う場合に選択すること。
(「各種」を選択し材料規格を変更しない場合は代表材料規格となり、選択すべき材料規格と異なる場合があるので注意すること。)

長期割引単価区分の選択

表 7

構造物種別	打設工法	設計日打設量	養生工の種類	圧送管延長距離区分	現場内小運搬の有無	打設高さ、水平打設距離	長期割引単価区分	
							あり	なし
無筋・鉄筋構造物	コンクリートポンプ車打設	10m3 以上 100m3 未満	特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	1	0
				60m 以下	—	—	1	0
				60m を超え 120m 以下	—	—	1	0

SP コンクリート	SQA001	—	施工単位	m3
-----------	--------	---	------	----

長期割引単価区分の選択

表 7

構造物種別	打設工法	設計日打設量	養生工の種類	圧送管延長距離区分	現場内小運搬の有無	打設高さ、水平打設距離	長期割引単価区分	
							あり	なし
				120m を超え 180m 以下	—	—	1	0
				180m を超え 240m 以下	—	—	1	0
		100m3 以上 500m3 未満	特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	1	0
				240m 以下	—	—	1	0
	バックホウ(クレーン機能付)打設	—	養生無し	—	—	—	1	0
			一般養生	—	—	—	1	0
			特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	—	—	—	1	0
	人力打設	—	特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	—	有り	—	1	0
					無し	—	1	0
小型構造物	クレーン車打設	—	養生無し	—	—	高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下	1	0
						高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下	1	0
						高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下	1	0
						高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下	1	0
						水平打設距離約 30m 以下	1	0
			一般養生	—	—	高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下	1	0
						高さ約 25m 以下、水平距離約 18m	1	0

SP コンクリート	SQA001	—	施工単位	m3
-----------	--------	---	------	----

長期割引単価区分の選択

表 7

構造物種別	打設工法	設計日打設量	養生工の種類	圧送管延長距離区分	現場内小運搬の有無	打設高さ、水平打設距離	長期割引単価区分	
							あり	なし
						以下		
						高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下	1	0
						高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下	1	0
						水平打設距離約 30m 以下	1	0
			特殊養生 (練炭)	—	—	高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下	1	0
						高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下	1	0
						高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下	1	0
						高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下	1	0
						水平打設距離約 30m 以下	1	0
			特殊養生 (ジェットヒータ)	—	—	高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下	1	0
						高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下	1	0
						高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下	1	0

SP コンクリート	SQA001	—	施工単位	m3
-----------	--------	---	------	----

長期割引単価区分の選択

表 7

構造物種別	打設工法	設計日打設量	養生工の種類	圧送管延長距離区分	現場内小運搬の有無	打設高さ、水平打設距離	長期割引単価区分	
							あり	なし
						高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下	1	0
						水平打設距離約 30m 以下	1	0
	バックホウ(クレーン機能付)打設	—	養生無し	—	—	—	1	0
			一般養生	—	—	—	1	0
			特殊養生(練炭)	—	—	—	1	0
			特殊養生(ジェットヒータ)	—	—	—	1	0
	人力打設	—	特殊養生(ジェットヒータ)	—	有り	—	1	0
					無し	—	1	0

SP コンクリート	SQA001	—	施工単位	m3
-----------	--------	---	------	----

作業日当り標準作業量

作業日当り標準作業量（A）は下表による。

構造物区分	打設方法	設計日打設量区分	作業日当り標準作業量 (A)
無筋・鉄筋構造物	コンクリートポンプ車打設	10m ³ 以上100m ³ 未満	69m ³ ／日
		100m ³ 以上500m ³ 未満	280m ³ ／日
	人力打設	10m ³ 未満	4m ³ ／日
小型構造物	クレーン車打設	—	6m ³ ／日
	人力打設	—	5m ³ ／日
無筋・鉄筋構造物	バックホウクレーン（機能付）打設		8m ³ ／日

（注）養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。

参考

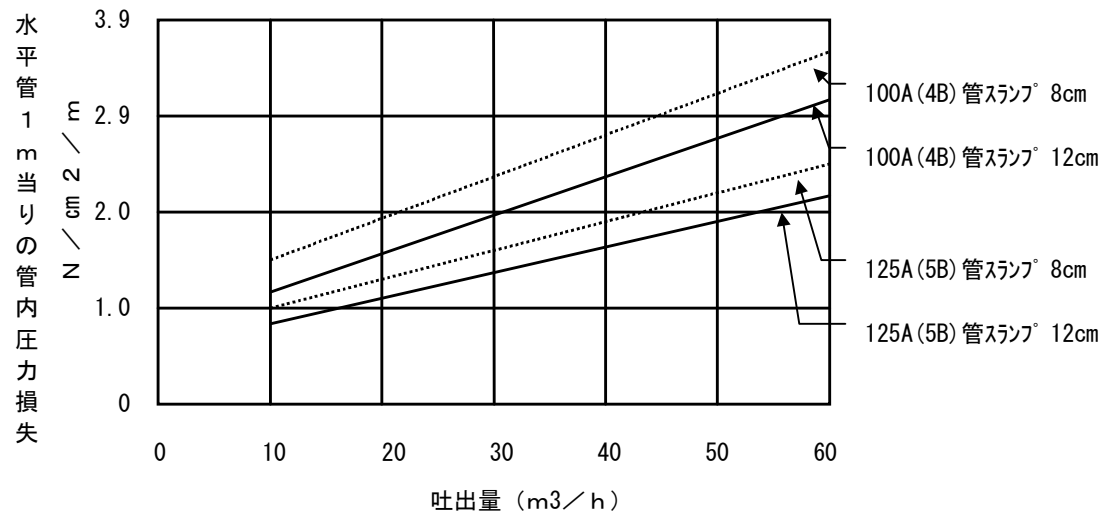
1. コンクリート構造物の分類

構造物種別	コンクリート構造物の分類
無筋構造物	重力式擁壁等のマッシブな無筋構造物。比較的単純な鉄筋を有する構造物で半重力式擁壁、均しコンクリート等
鉄筋構造物	水路、ボックスカルバート、水門、ポンプ場下部工、栈橋上部コンクリート、突桁又は扶壁式の擁壁及び橋台、橋脚、橋梁床版等の鉄筋量の多い構造物等
小型構造物	コンクリート断面積が 1m ² 以下の連続している側溝、笠コンクリート等、コンクリート量が1m ³ 以下の点する集水樹、照明基礎、標識基礎等

2. 配管打設の最大圧送距離は、コンクリートポンプにかかる最大圧送負荷（Pmax）＝（水平管 1 m 当たりの管内圧力損失）×（水平換算距離）を求める。

（1） 水平管 1 m 当たりの管内圧力損失は、コンクリートの品質、吐出量、管径によって定まる。なお、図に示される値は、粗骨材の最大寸法が 20～30 mm の場合の値であり、粗骨材の最大寸法が 40 mm の場合には、この図に対し 10 % の割増を行うものとする。

図 水平管 1 m 当たりの管内圧力損失標準値（Gmax 20～25mm の場合）



SP コンクリート	SQA001	—
-----------	--------	---

施工単位	m3
------	----

(2) 水平管以外の管の水平換算距離は、下表の値をもとに求める。

表 異形管の水平換算長さ

項 目	単 位	呼び寸法	水平換算長(m)
上向き垂直管	1 m 当たり	1 0 0 A, 1 2 5 A	3, 4
テーパ管	1 本 当 たり (標準 1 m)	1 5 0 A → 1 2 5 A 1 2 5 A → 1 0 0 A	3
ベント管	1 本 当 たり	9 0 ° (R = 1 m)	6
フレキシブルホース	5 ~ 8 m も の 1 本		2 0

(3) 圧送可能範囲は、 P_{max} がコンクリートポンプの最大理論吐出圧力 80% 以下の場合とする。

SP 表層（車道・路肩部）	SQA002	—	施工単位	m ²
---------------	--------	---	------	----------------

適用範囲	舗装工における表層に適用する。 適用できる範囲 （１）アスファルト混合物が購入方式の場合 （２）施工箇所が車道・路肩部で１層当り平均仕上り厚が 70mm 以下の場合
規格摘要	１．車道・路肩部における表層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２．アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.07） ３．瀝青材料の材料ロスを含む。 なお、標準使用量は、タックコートの場合 43L/100m²、プライムコートの場合 126L/100m² とする。 ４．面積＝本線＋すりつけ部＋非常駐車帯とする。 ５．幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は平均幅員 1.4m 未満を適用する。
補助文内容	平均幅員, 設計密度(参考) t/m ³ , 材料区分, 瀝青材料種類, 1 層当り平均仕上り厚, 長期割引単価区分

代表機労材規格

項目	代表機労材規格	単価コード	基礎単価式
機械	K1	アスファルトフィニッシャ [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 舗装幅 1.4～3.0m	F04501 基 (LE)
		アスファルトフィニッシャ [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 舗装幅 2.3～6.0m	F04505 基 (LE)
		振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5～0.6t	M14181 基 (KY)
	K2	振動ローラ [搭乗式・コンパクト型・～低騒・排対型 (～3 次)] 質量 3～4t	F04062 基 (LE)
		タイヤローラ [普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3 次)] 質量 8～20t	F04101 基 (LE)
		振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40～60kg	M14301 基 (KYD)
	K3	タイヤローラ [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 質量 3～4t	F04102 基 (LE)
		ロードローラ [マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 質量 10t	F04201 基 (LE)
	R1	特殊作業員	R01002 基 (D3)
労務	R1	普通作業員	R01003 基 (D3)
		普通作業員	R01003 基 (D3)
	R2	普通作業員	R01003 基 (D3)
		運転手 (特殊)	R01021 基 (D2)
	R3	土木一般世話役	R01001 基 (D3)
		特殊作業員	R01002 基 (D3)
材料	R4	土木一般世話役	R01001 基 (D3)
	Z1	密粒度アスコン (20)	J01002 基*表 6
		細粒度アスコン (13)	J01004 基*表 6
		開粒度アスコン (13)	J01006 基*表 6
	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	P28003 基
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	P28004 基
		ガソリン レギュラー スタンド	P34001 基
		軽油 パトロール給油	P34029 基

SP 表層（車道・路肩部）	SQA002	—	施工単位	m ²
---------------	--------	---	------	----------------

項 目		代表機労材規格	単価コード	基礎単価式
	Z3	ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基
		軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z4	軽油 パトロール給油	P34029	基
市場単価	S	—		

選定項目

平均幅員

平均幅員
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 以下
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 超 70mm 以下
1.4m 以上 3.0m 以下
3.0m 超

設計密度(参考)t/m3

設計密度(参考)t/m3
密粒度アスコン(20)
細粒度アスコン(13)
開粒度アスコン(13)
各種(2.35t/m3)
各種(2.30t/m3)

瀝青材料種類

瀝青材料種類
タックコート 各種
プライムコート 各種
無し

選定項目表

1 層当り平均仕上り厚の入力
 表 6

1 層当り平均仕上り厚	0
-------------	---

長期割引単価区分の選択
 表 7

平均幅員	長期割引単価区分	
	あり	なし
1.4m 以上 3.0m 以下	1	0
3.0m 超	1	0

選択条件

- ・ 賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・ 長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

材料規格の選択
 表 8

設計密度(参考)t/m3	種別区分	材料区分	単価コード
--------------	------	------	-------

SP 表層（車道・路肩部）	SQA002	—	施工単位	m ²
---------------	--------	---	------	----------------

材料規格の選択

表 8

設計密度(参考)t/m ³	種別区分	材料区分	単価コード
密粒度アスコン(20)	—	—	J01002
細粒度アスコン(13)	—	—	J01004
開粒度アスコン(13)	—	—	J01006
各種(2.35t/m ³)	新材	粗粒度アスコン(20)	J01001
		密粒度アスコン(13)	J01003
		密粒度アスコン(20F)	J01007
		密粒度アスコン(13F)	J01008
		密粒度ギャップアスコン(13)	J01005
		密粒度ギャップアスコン(13F)	J01011
	再生材	再生粗粒度アスコン(20)	J01015
		再生密粒度アスコン(20)	J01019
		再生密粒度アスコン(13)	J01016
各種(2.30t/m ³)	新材	細粒度アスコン(13F)	J01010
		細粒度ギャップアスコン(13F)	J01009
	再生材	再生細粒度アスコン(13)	J01017

選択条件

- ・「設計密度(参考)t/m³」欄に名称が記載されている材料については、材料規格の変更を行わないこと。
- ・前項以外の材料を使用する場合は、「各種(該当する設計密度)」を選択すること。
- ・材料規格の変更を行う場合は、「各種(該当する設計密度)」から類似する材料を選択して行うこと。
(「各種(該当する設計密度)」を選択し材料規格の変更をしない場合は代表材料規格となり、選択すべき材料規格と異なる場合があるので注意すること。)

SP 表層（車道・路肩部）	SQA002	—	施工単位	m ²
---------------	--------	---	------	----------------

作業日当り標準作業量

（1日・1層当り）

施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単位	作業日当り 標準作業量
基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 表層(車道・路肩部)	1.4m未満	50mm以下	m2	250 m2/日・層
		50mmを超え 70mm以下		230 m2/日・層
	1.4m以上 3.0m以下	70mm以下		1,300 m2/日・層
	3.0m超			2,300 m2/日・層

参考

材料

積算 条件	区 分			
	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)
材料	密粒度アスコン（20）	2.35	細粒度アスコン（13）	2.30
	密粒度アスコン（13）	〃	細粒度アスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（20F）	〃	細粒度ギャップアスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（13F）	〃	再生細粒度アスコン（13）	〃
	密粒度ギャップアスコン（13）	〃	開粒度アスコン（13）	1.94
	密粒度ギャップアスコン（13F）	〃	各種 （1.90 以上 2.50t/m ³ 未満）	1.90 以上 2.50 未満
	粗粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（13）	〃		
	再生粗粒度アスコン（20）	〃		

SP 表層（歩道部）	SQA003	—	施工単位	m ²
------------	--------	---	------	----------------

適用範囲	舗装工における表層に適用する。 適用できる範囲 （１）アスファルト混合物が購入方式の場合 （２）施工箇所が歩道部で１層当り平均仕上り厚が 70mm 以下の場合
規格摘要	１．歩道部における、表層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２．アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.10） ３．瀝青材料の材料ロスを含む。 なお、標準使用量は、タックコートの場合 43L/100m²、プライムコートの場合 126L/100m² とする。 ４．幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は、平均幅員 1.4m未満を適用する。
補助文内容	平均幅員, 1 層当り平均仕上り厚, 設計密度(参考) t/m ³ , 瀝青材料種類, 長期割引単価区分, 材料区分

代表機労材規格

項目	代表機労材規格	単価コード	基礎単価式
機械	K1 振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式] 運転質量 0.5～0.6t	M14181	基 (KY)
	アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4～3.0m	M16021	基 (KY)
	K2 振動ローラ[搭乗式・コンバインド型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	F04062	基 (LE)
	振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40～60kg	M14301	基 (KYD)
	K3 —		
労務	R1 特殊作業員	R01002	基 (D3)
	普通作業員	R01003	基 (D3)
	R2 特殊作業員	R01002	基 (D3)
	普通作業員	R01003	基 (D3)
	R3 土木一般世話役	R01001	基 (D3)
	運転手（特殊）	R01021	基 (D2)
	R4 土木一般世話役	R01001	基 (D3)
材料	Z1 細粒度アスコン（１３）	J01004	基*表 6
	再生密粒度アスコン（１３）	J01016	基*表 6
	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	P28003	基
		P28004	基
		P34001	基
		P34029	基
	Z3 ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基
		P34029	基
	Z4 軽油 パトロール給油	P34029	基
市場単価	S —		

選定項目

平均幅員

平均幅員
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 以下
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 超 70mm 以下

SP 表層（歩道部）	SQA003	—
------------	--------	---

施工単位	m ²
------	----------------

平均幅員
1.4m 以上

設計密度(参考)t/m³

設計密度(参考)t/m ³
再生密粒度アスコン(13)
細粒度アスコン(13)
各種(2.20t/m ³)
各種(2.15t/m ³)

瀝青材料種類

瀝青材料種類
タックコート 各種
プライムコート 各種
無し

選定項目表

1 層当り平均仕上り厚の入力

表 6

1 層当り平均仕上り厚	0
-------------	---

長期割引単価区分の選択

表 7

平均幅員	長期割引単価区分	
	あり	なし
1.4m 以上	1	0

選択条件

- ・ 賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・ 長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

材料区分の選択

表 8

設計密度(参考)t/m ³	種別区分	材料区分	単価コード
再生密粒度アスコン(13)	—	—	J01016
細粒度アスコン(13)	—	—	J01004
各種(2.20t/m ³)	新材	粗粒度アスコン(20)	J01001
		密粒度アスコン(20)	J01002
		密粒度アスコン(13)	J01003
		密粒度アスコン(20F)	J01007
		密粒度アスコン(13F)	J01008
		密粒度ギャップアスコン(13)	J01005
		密粒度ギャップアスコン(13F)	J01011
	再生材	再生粗粒度アスコン(20)	J01015
		再生密粒度アスコン(20)	J01019
各種(2.15t/m ³)	新材	細粒度アスコン(13F)	J01010
		細粒度ギャップアスコン(13F)	J01009
	再生材	再生細粒度アスコン(13)	J01017

SP 表層（歩道部）	SQA003	—	施工単位	m ²
------------	--------	---	------	----------------

選択条件

- ・「設計密度(参考)t/m3」欄に名称が記載されている材料については、材料規格の変更を行わないこと。
- ・前項以外の材料を使用する場合は、「各種(該当する設計密度)」を選択すること。
- ・材料規格の変更を行う場合は、「各種(該当する設計密度)」から類似する材料を選択して行うこと。
(「各種(該当する設計密度)」を選択し材料規格の変更をしない場合は代表材料規格となり、選択すべき材料規格と異なる場合があるので注意すること。)

SP 表層（歩道部）	SQA003	—	施工単位	m ²
------------	--------	---	------	----------------

作業日当り標準作業量

（1日・1層当り）

施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単位	作業日当り 標準作業量
基層（歩道部） 中間層（歩道部） 表層（歩道部）	1.4m未満	50mm以下	m2	250 m2/日・層
		50mmを超え 70mm以下		230 m2/日・層
	1.4m以上	70mm以下		940 m2/日・層

参考

材料

積算 条件	区 分			
材料	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)
	密粒度アスコン（20）	2.20	細粒度アスコン（13）	2.15
	密粒度アスコン（13）	〃	細粒度アスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（20F）	〃	細粒度ギャップアスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（13F）	〃	再生細粒度アスコン（13）	〃
	密粒度ギャップアスコン（13）	〃	各種 （1.90以上2.40t/m ³ 未満）	1.90以上 2.40未満
	密粒度ギャップアスコン（13F）	〃		
	粗粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（13）	〃		
	再生粗粒度アスコン（20）	〃		

SP 中間層（車道・路肩部）	SQA004	—	施工単位	m ²
----------------	--------	---	------	----------------

適用範囲	舗装工における中間層に適用する。 適用できる範囲 （１）アスファルト混合物が購入方式の場合 （２）施工箇所が車道・路肩部で１層当り平均仕上り厚が 70mm 以下の場合			
規格摘要	１．車道・路肩部における中間層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２．アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.07） ３．瀝青材料の材料ロスを含む。 なお、標準使用量は、タックコートの場合 43L/100m ² 、プライムコートの場合 126L/100m ² とする。 ４．面積＝本線＋すりつけ部＋非常駐車帯とする。 ５．幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は平均幅員 1.4m 未満を適用する。			
補助文内容	平均幅員, 1 層当り平均仕上り厚, 設計密度(参考) t/m ³ , 瀝青材料種類, 材料区分, 長期割引単価区分			

代表機労材規格

項 目		代表機労材規格	単価コード	基礎単価式
機械	K1	アスファルトフィニッシャ [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 舗装幅 1.4～3.0m	F04501	基 (LE)
		アスファルトフィニッシャ [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 舗装幅 2.3～6.0m	F04505	基 (LE)
		振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5～0.6t	M14181	基 (KY)
	K2	振動ローラ [搭乗式・コンパインド型・～低騒・排対型 (～3 次)] 質量 3～4t	F04062	基 (LE)
		タイヤローラ [普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3 次)] 質量 8～20t	F04101	基 (LE)
		振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40～60kg	M14301	基 (KYD)
	K3	タイヤローラ [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 質量 3～4t	F04102	基 (LE)
		ロードローラ [マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 質量 10t	F04201	基 (LE)
労務	R1	特殊作業員	R01002	基 (D3)
		普通作業員	R01003	基 (D3)
	R2	普通作業員	R01003	基 (D3)
		運転手 (特殊)	R01021	基 (D2)
	R3	土木一般世話役	R01001	基 (D3)
		特殊作業員	R01002	基 (D3)
	R4	土木一般世話役	R01001	基 (D3)
材料	Z1	細粒度アスコン (13)	J01004	基*表 6
		開粒度アスコン (13)	J01006	基*表 6
		再生粗粒度アスコン (20)	J01015	基*表 6
	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	P28003	基
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	P28004	基
		ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基

SP 中間層（車道・路肩部）	SQA004	—	施工単位	m ²
----------------	--------	---	------	----------------

項 目	代表機労材規格		単価コード	基礎単価式
	Z3	軽油 パトロール給油	P34029	基
		ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基
		軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z4	軽油 パトロール給油	P34029	基
市場単価	S	—		

選定項目

平均幅員

平均幅員
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 以下
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 超 70mm 以下
1.4m 以上 3.0m 以下
3.0m 超

設計密度(参考)t/m3)

設計密度(参考)t/m3)
再生粗粒度アスコン(20)
細粒度アスコン(13)
開粒度アスコン(13)
各種(2.35t/m3)
各種(2.30t/m3)

瀝青材料種類

瀝青材料種類
タックコート 各種
プライムコート 各種
無し

選定項目表

1 層当り平均仕上り厚の入力 表 6

1 層当り平均仕上り厚	0
-------------	---

長期割引単価区分の選択 表 7

平均幅員	長期割引単価区分	
	あり	なし
1.4m 以上 3.0m 以下	1	0
3.0m 超	1	0

選択条件

- ・ 賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・ 長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

材料の選択

表 8

設計密度(参考)t/m3)	種別区分	材料区分	コード
---------------	------	------	-----

SP 中間層（車道・路肩部）	SQA004	—	施工単位	m ²
----------------	--------	---	------	----------------

材料の選択

表 8

設計密度(参考)t/m ³	種別区分	材料区分	コード
再生粗粒度アスコン(20)	—	—	J01015
細粒度アスコン(13)	—	—	J01004
開粒度アスコン(13)	—	—	J01006
各種(2.35t/m ³)	新材	粗粒度アスコン(20)	J01001
		密粒度アスコン(20)	J01002
		密粒度アスコン(13)	J01003
		密粒度アスコン(20F)	J01007
		密粒度アスコン(13F)	J01008
		密粒度ギヤップアスコン(13)	J01005
		密粒度ギヤップアスコン(13F)	J01011
	再生材	再生密粒度アスコン(20)	J01019
		再生密粒度アスコン(13)	J01016
各種(2.30t/m ³)	新材	細粒度アスコン(13F)	J01010
		細粒度ギヤップアスコン(13F)	J01009
	再生材	再生細粒度アスコン(13)	J01017

選択条件

- ・「設計密度(参考)t/m³」欄に名称が記載されている材料については、材料規格の変更を行わないこと。
- ・前項以外の材料を使用する場合は、「各種(該当する設計密度)」を選択すること。
- ・材料規格の変更を行う場合は、「各種(該当する設計密度)」から類似する材料を選択して行うこと。
(「各種(該当する設計密度)」を選択し材料規格の変更をしない場合は代表材料規格となり、選択すべき材料規格と異なる場合があるので注意すること。)

SP 中間層（車道・路肩部）	SQA004	—	施工単位	m ²
----------------	--------	---	------	----------------

作業日当り標準作業量

（1日・1層当り）

施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単位	作業日当り 標準作業量
基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 表層(車道・路肩部)	1.4m未満	50mm以下	m2	250 m2/日・層
		50mmを超え 70mm以下		230 m2/日・層
	1.4m以上 3.0m以下	70mm以下		1,300 m2/日・層
	3.0m超			2,300 m2/日・層

参考

材料

積算 条件	区 分			
材料	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)
	密粒度アスコン（20）	2.35	細粒度アスコン（13）	2.30
	密粒度アスコン（13）	〃	細粒度アスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（20F）	〃	細粒度ギャップアスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（13F）	〃	再生細粒度アスコン（13）	〃
	密粒度ギャップアスコン（13）	〃	開粒度アスコン（13）	1.94
	密粒度ギャップアスコン（13F）	〃	各種 （1.90 以上 2.50t/m ³ 未満）	1.90 以上 2.50 未満
	粗粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（13）	〃		
	再生粗粒度アスコン（20）	〃		

SP 中間層（歩道部）	SQA005	—	施工単位	m ²
-------------	--------	---	------	----------------

適用範囲	舗装工における中間層に適用する。 適用できる範囲 （１）アスファルト混合物が購入方式の場合 （２）施工箇所が歩道部で１層当り平均仕上り厚が 70mm 以下の場合
規格摘要	１．歩道部における、中間層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２．アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.10） ３．瀝青材料の材料ロスを含む。 なお、標準使用量は、タックコートの場合 43L/100m²、プライムコートの場合 126L/100m² とする。 ４．幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は、平均幅員 1.4m未満を適用する。
補助文内容	平均幅員, 1 層当り平均仕上り厚, 設計密度(参考) t/m ³ , 瀝青材料種類, 材料区分, 長期割引単価区分

代表機労材規格

項 目		代表機労材規格	単価コード	基礎単価式
機械	K1	振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式] 運転質量 0.5～0.6t	M14181	基 (KY)
		アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4～3.0m	M16021	基 (KY)
	K2	振動ローラ[搭乗式・コンパクト型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	F04062	基 (LE)
		振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40～60kg	M14301	基 (KYD)
	K3	—		
労務	R1	特殊作業員	R01002	基 (D3)
		普通作業員	R01003	基 (D3)
	R2	特殊作業員	R01002	基 (D3)
		普通作業員	R01003	基 (D3)
	R3	土木一般世話役	R01001	基 (D3)
		運転手（特殊）	R01021	基 (D2)
	R4	土木一般世話役	R01001	基 (D3)
材料	Z1	細粒度アスコン（１３）	J01004	基*表 6
		再生粗粒度アスコン（２０）	J01015	基*表 6
	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	P28003	基
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	P28004	基
		ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基
		軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z3	ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基
		軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z4	軽油 パトロール給油	P34029	基
市場単価	S	—		

選定項目

平均幅員

平均幅員
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 以下

SP 中間層（歩道部）	SQA005	—
-------------	--------	---

施工単位	m ²
------	----------------

平均幅員
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 超 70mm 以下
1.4m 以上

設計密度(参考) t/m³

設計密度(参考) t/m ³
再生粗粒度アスコン(20)
細粒度アスコン(13)
各種(2.20t/m ³)
各種(2.15t/m ³)

瀝青材料種類

瀝青材料種類
タックコート 各種
プライムコート 各種
無し

選定項目表

1 層当り平均仕上り厚の入力

表 6

1 層当り平均仕上り厚	0
-------------	---

長期割引単価区分の選択

表 7

平均幅員	長期割引単価区分	
	あり	なし
1.4m 以上	1	0

選択条件

- ・ 賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・ 長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

材料の選択

表 8

設計密度(参考) t/m ³	種別区分	材料区分	コード
再生粗粒度アスコン(20)	—	—	J01015
細粒度アスコン(13)	—	—	J01004
各種(2.20t/m ³)	新材	粗粒度アスコン(20)	J01001
		密粒度アスコン(20)	J01002
		密粒度アスコン(13)	J01003
		密粒度アスコン(20F)	J01007
		密粒度アスコン(13F)	J01008
		密粒度ギヤップアスコン(13)	J01005
		密粒度ギヤップアスコン(13F)	J01011
	再生材	再生密粒度アスコン(20)	J01019
		再生密粒度アスコン(13)	J01016
各種(2.15t/m ³)	新材	細粒度アスコン(13F)	J01010
		細粒度ギヤップアスコン(13F)	J01009

SP 中間層（歩道部）	SQA005	—	施工単位	m ²
-------------	--------	---	------	----------------

材料の選択

表 8

設計密度(参考)t/m3	種別区分	材料区分	コード
	再生材	再生細粒度アスコン(13)	J01017

- 選択条件
- ・「設計密度(参考)t/m3」欄に名称が記載されている材料については、材料規格の変更を行わないこと。
 - ・前項以外の材料を使用する場合は、「各種(該当する設計密度)」を選択すること。
 - ・材料規格の変更を行う場合は、「各種(該当する設計密度)」から類似する材料を選択して行うこと。
 (「各種(該当する設計密度)」を選択し材料規格の変更をしない場合は代表材料規格となり、選択すべき材料規格と異なる場合があるので注意すること。)

SP 中間層（歩道部）	SQA005	—	施工単位	m ²
-------------	--------	---	------	----------------

作業日当り標準作業量

（1日・1層当り）

施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単位	作業日当り 標準作業量
基層（歩道部） 中間層（歩道部） 表層（歩道部）	1.4m未満	50mm以下	m2	250 m2/日・層
		50mmを超え 70mm以下		230 m2/日・層
	1.4m以上	70mm以下		940 m2/日・層

参考

材料

積算 条件	区 分			
材料	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)
	密粒度アスコン（20）	2.20	細粒度アスコン（13）	2.15
	密粒度アスコン（13）	〃	細粒度アスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（20F）	〃	細粒度ギャップアスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（13F）	〃	再生細粒度アスコン（13）	〃
	密粒度ギャップアスコン（13）	〃	各種 （1.90以上2.40t/m ³ 未満）	1.90以上 2.40未満
	密粒度ギャップアスコン（13F）	〃		
	粗粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（13）	〃		
	再生粗粒度アスコン（20）	〃		

SP 基層（車道・路肩部）	SQA006	—	施工単位	m ²
---------------	--------	---	------	----------------

適用範囲	舗装工における基層に適用する。 適用できる範囲 （１）アスファルト混合物が購入方式の場合 （２）施工箇所が車道・路肩部で１層当り平均仕上り厚が 70mm 以下の場合
規格摘要	１．車道・路肩部における基層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２．アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.07） ３．瀝青材料の材料ロスを含む。なお、標準使用量は、タックコートの場合 43L/100m²、プライムコートの場合 126L/100m² とする。 ４．面積＝本線＋すりつけ部＋非常駐車帯とする。 ５．幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は平均幅員 1.4m 未満を適用する。
補助文内容	平均幅員, 設計密度(参考)t/m ³ , 瀝青材料種類, 1 層当り平均仕上り厚, 材料区分, 長期割引単価区分

代表機労材規格

項目	代表機労材規格	単価コード	基礎単価式
機械	K1	アスファルトフィニッシャ [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 舗装幅 1.4～3.0m	F04501 基 (LE)
		アスファルトフィニッシャ [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 舗装幅 2.3～6.0m	F04505 基 (LE)
		振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5～0.6t	M14181 基 (KY)
	K2	振動ローラ [搭乗式・コンパインド型・～低騒・排対型 (～3 次)] 質量 3～4t	F04062 基 (LE)
		タイヤローラ [普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3 次)] 質量 8～20t	F04101 基 (LE)
		振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40～60kg	M14301 基 (KYD)
	K3	タイヤローラ [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 質量 3～4t	F04102 基 (LE)
		ロードローラ [マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 質量 10t	F04201 基 (LE)
労務	R1	特殊作業員	R01002 基 (D3)
		普通作業員	R01003 基 (D3)
	R2	普通作業員	R01003 基 (D3)
		運転手 (特殊)	R01021 基 (D2)
	R3	土木一般世話役	R01001 基 (D3)
		特殊作業員	R01002 基 (D3)
	R4	土木一般世話役	R01001 基 (D3)
材料	Z1	細粒度アスコン (13)	J01004 基*表 6
		開粒度アスコン (13)	J01006 基*表 6
		再生粗粒度アスコン (20)	J01015 基*表 6
	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	P28003 基
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	P28004 基
		ガソリン レギュラー スタンド	P34001 基
		軽油 パトロール給油	P34029 基
	Z3	ガソリン レギュラー スタンド	P34001 基

SP 基層（車道・路肩部）	SQA006	—	施工単位	m ²
---------------	--------	---	------	----------------

項 目	代表機労材規格		単価コード	基礎単価式
		軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z4	軽油 パトロール給油	P34029	基
市場単価	S	—		

選定項目

平均幅員

平均幅員
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 以下
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 超 70mm 以下
1.4m 以上 3.0m 以下
3.0m 超

設計密度(参考)t/m3

設計密度(参考)t/m3
再生粗粒度アスコン(20)
細粒度アスコン(13)
開粒度アスコン(13)
各種(2.35t/m3)
各種(2.30t/m3)

瀝青材料種類

瀝青材料種類
タックコート 各種
プライムコート 各種
無し

選定項目表

1 層当り平均仕上り厚の入力

表 6

1 層当り平均仕上り厚	0
-------------	---

長期割引単価区分の選択

表 7

平均幅員	長期割引単価区分	
	あり	なし
1.4m 以上 3.0m 以下	1	0
3.0m 超	1	0

選択条件

- ・賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

材料の選択

表 8

設計密度(参考)t/m3	種別区分	材料区分	コード
再生粗粒度アスコン(20)	—	—	J01015
細粒度アスコン(13)	—	—	J01004

SP 基層（車道・路肩部）	SQA006	—	施工単位	m ²
---------------	--------	---	------	----------------

材料の選択

表 8

設計密度(参考) t/m ³	種別区分	材料区分	コード
開粒度アスコン(13)	—	—	J01006
各種(2.35t/m ³)	新材	粗粒度アスコン(20)	J01001
		密粒度アスコン(20)	J01002
		密粒度アスコン(13)	J01003
		密粒度アスコン(20F)	J01007
		密粒度アスコン(13F)	J01008
		密粒度キヤップアスコン(13)	J01005
		密粒度キヤップアスコン(13F)	J01011
	再生材	再生密粒度アスコン(20)	J01019
		再生密粒度アスコン(13)	J01016
各種(2.30t/m ³)	新材	細粒度アスコン(13F)	J01010
		細粒度キヤップアスコン(13F)	J01009
	再生材	再生細粒度アスコン(13)	J01017

選択条件

- ・「設計密度(参考) t/m³」欄に名称が記載されている材料については、材料規格の変更を行わないこと。
- ・前項以外の材料を使用する場合は、「各種(該当する設計密度)」を選択すること。
- ・材料規格の変更を行う場合は、「各種(該当する設計密度)」から類似する材料を選択して行うこと。
（「各種(該当する設計密度)」を選択し材料規格の変更をしない場合は代表材料規格となり、選択すべき材料規格と異なる場合があるので注意すること。）

SP 基層（車道・路肩部）	SQA006	—	施工単位	m ²
---------------	--------	---	------	----------------

作業日当り標準作業量

（１日・１層当り）

施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単位	作業日当り 標準作業量
基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 表層(車道・路肩部)	1.4m未満	50mm以下	m2	250 m2/日・層
		50mmを超え 70mm以下		230 m2/日・層
	1.4m以上 3.0m以下	70mm以下		1,300 m2/日・層
	3.0m超			2,300 m2/日・層

参考

材料

積算 条件	区 分			
材料	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)
	密粒度アスコン（20）	2.35	細粒度アスコン（13）	2.30
	密粒度アスコン（13）	〃	細粒度アスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（20F）	〃	細粒度ギャップアスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（13F）	〃	再生細粒度アスコン（13）	〃
	密粒度ギャップアスコン（13）	〃	開粒度アスコン（13）	1.94
	密粒度ギャップアスコン（13F）	〃	各種 （1.90 以上 2.50t/m ³ 未満）	1.90 以上 2.50 未満
	粗粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（13）	〃		
	再生粗粒度アスコン（20）	〃		

SP 基層（歩道部）	SQA007	—	施工単位	m ²
------------	--------	---	------	----------------

適用範囲	舗装工における基層に適用する。 適用できる範囲 （１）アスファルト混合物が購入方式の場合 （２）施工箇所が歩道部で１層当り平均仕上り厚が 70mm 以下の場合
規格摘要	１．歩道部における基層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２．アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.10） ３．瀝青材料の材料ロスを含む。 なお、標準使用量は、タックコートの場合 43L/100m²、プライムコートの場合 126L/100m² とする。 ４．幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は、平均幅員 1.4m未満を適用する。
補助文内容	平均幅員, 1 層当り平均仕上り厚, 設計密度(参考) t/m ³ , 瀝青材料種類, 材料区分, 長期割引単価区分

代表機労材規格

項目	代表機労材規格		単価コード	基礎単価式
機械	K1	振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式] 運転質量 0.5～0.6t	M14181	基 (KY)
		アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4～3.0m	M16021	基 (KY)
	K2	振動ローラ[搭乗式・コンパクト型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	F04062	基 (LE)
		振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40～60kg	M14301	基 (KYD)
	K3	—		
労務	R1	特殊作業員	R01002	基 (D3)
		普通作業員	R01003	基 (D3)
	R2	特殊作業員	R01002	基 (D3)
		普通作業員	R01003	基 (D3)
	R3	土木一般世話役	R01001	基 (D3)
		運転手（特殊）	R01021	基 (D2)
	R4	土木一般世話役	R01001	基 (D3)
材料	Z1	細粒度アスコン（１３）	J01004	基*表 6
		再生粗粒度アスコン（２０）	J01015	基*表 6
	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	P28003	基
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	P28004	基
		ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基
		軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z3	ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基
		軽油 パトロール給油	P34029	基
	Z4	軽油 パトロール給油	P34029	基
市場単価	S	—		

選定項目

平均幅員

平均幅員
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 以下

SP 基層（歩道部）	SQA007	—
------------	--------	---

施工単位	m ²
------	----------------

平均幅員
1.4m 未満 1 層仕上厚 50mm 超 70mm 以下
1.4m 以上

設計密度(参考)t/m3

設計密度(参考)t/m3
再生粗粒度アスコン(20)
細粒度アスコン(13)
各種(2.20t/m3)
各種(2.15t/m3)

瀝青材料種類

瀝青材料種類
タックコート 各種
プライムコート 各種
無し

選定項目表

1 層当り平均仕上り厚の入力

表 6

1 層当り平均仕上り厚	0
-------------	---

長期割引単価区分の選択

表 7

平均幅員	長期割引単価区分	
	あり	なし
1.4m 以上	1	0

選択条件

- ・ 賃料機械単価の長期割引を行う場合は、「あり」を選択する。
- ・ 長期割引を行わない場合は、「なし」を選択する。

材料の選択

表 8

設計密度(参考)t/m3	種類区分	材料区分	コード
再生粗粒度アスコン(20)	—	—	J01015
細粒度アスコン(13)	—	—	J01004
各種(2.20t/m3)	新材	粗粒度アスコン(20)	J01001
		密粒度アスコン(20)	J01002
		密粒度アスコン(13)	J01003
		密粒度アスコン(20F)	J01007
		密粒度アスコン(13F)	J01008
		密粒度ギャップアスコン(13)	J01005
		密粒度ギャップアスコン(13F)	J01011
	再生材	再生密粒度アスコン(20)	J01019
		再生密粒度アスコン(13)	J01016
各種(2.15t/m3)	新材	細粒度アスコン(13F)	J01010
		細粒度ギャップアスコン(13F)	J01009

SP 基層（歩道部）	SQA007	—	施工単位	m ²
------------	--------	---	------	----------------

材料の選択

表 8

設計密度(参考)t/m3	種類区分	材料区分	コード
	再生材	再生細粒度アスコン(13)	J01017

- 選択条件
- ・「設計密度(参考)t/m3」欄に名称が記載されている材料については、材料規格の変更を行わないこと。
 - ・前項以外の材料を使用する場合は、「各種(該当する設計密度)」を選択すること。
 - ・材料規格の変更を行う場合は、「各種(該当する設計密度)」から類似する材料を選択して行うこと。
 (「各種(該当する設計密度)」を選択し材料規格の変更をしない場合は代表材料規格となり、選択すべき材料規格と異なる場合があるので注意すること。)

SP 基層（歩道部）	SQA007	—	施工単位	m ²
------------	--------	---	------	----------------

作業日当り標準作業量

（1日・1層当り）

施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単位	作業日当り 標準作業量
基層（歩道部） 中間層（歩道部） 表層（歩道部）	1.4m未満	50mm以下	m2	250 m2/日・層
		50mmを超え 70mm以下		230 m2/日・層
	1.4m以上	70mm以下		940 m2/日・層

参考

材料

積算 条件	区 分			
材料	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)	アスファルト混合物	標準締固 め後密度 (t/m ³)
	密粒度アスコン（20）	2.20	細粒度アスコン（13）	2.15
	密粒度アスコン（13）	〃	細粒度アスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（20F）	〃	細粒度ギャップアスコン（13F）	〃
	密粒度アスコン（13F）	〃	再生細粒度アスコン（13）	〃
	密粒度ギャップアスコン（13）	〃	各種 （1.90以上2.40t/m ³ 未満）	1.90以上 2.40未満
	密粒度ギャップアスコン（13F）	〃		
	粗粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（20）	〃		
	再生密粒度アスコン（13）	〃		
	再生粗粒度アスコン（20）	〃		

SP コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	SQA008	—	施工単位	孔
-----------------------	--------	---	------	---

適用範囲	コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水孔等）作業に適用する。
規格	使用機械 発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA 電動ハンマドリル 孔あけ能力φ38～40mm
摘要	1. 適用範囲 削孔径：10mm 以上 30mm 未満 削孔深：30mm 以上 400mm 以下 なお、削孔方向によらず適用できる。 2. 以下の場合には適用できない （1）落橋防止に伴う橋台、橋脚の削孔である場合 3. 電動ハンマドリルによるコンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業の他、ビットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 4. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無に関わらず適用できる。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 5. 足場が必要な場合は、別途計上する。 6. 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、技術管理費にて別途計上する。
補助文内容	削孔径, 削孔深, 長期割引単価区分

代表機労材規格

項 目		代表機労材規格	単価コード	基礎単価式
機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	F02070	基 (LE)
	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 3 8 ～ 4 0 mm	M28382	基 (KYD)
	K3	—		
労務	R1	特殊作業員	R01002	基 (D3)
	R2	普通作業員	R01003	基 (D3)
	R3	土木一般世話役	R01001	基 (D3)
	R4	—		
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド	P34001	基
	Z2	—		
	Z3	—		
	Z4	—		
市場単価	S	—		

選定項目

削孔径

削孔径
10mm 以上 30mm 未満

SP コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	SQA008	—
-----------------------	--------	---

施工単位	孔
------	---

削孔深

削孔深
30mm 以上 200mm 未満
200mm 以上 400mm 以下

選定項目表

長期割引単価区分の選択表 6

削孔径	削孔深	長期割引単価区分	
		あり	なし
10mm 以上 30mm 未満	30mm 以上 200mm 未満	1	0
	200mm 以上 400mm 以下	1	0

作業日当り標準作業量

作業日当り標準作業量（A）は下表による。

適用削孔径(mm)	削孔深(mm)	作業日当り標準作業量(A)
10以上30未満	30以上200未満	83孔／日
	200以上400以下	63孔／日

参考

1 準拠基準

国土交通省 土木工事標準積算基準書（共通編） 第2編共通工 第2章共通工 コンクリート削孔工
第1編第14章その他①作業日当り標準作業量

案件区分								機房規模別仕上																	代表機房初年度概算																備考
構造特種別	打設工法	設計日打設置	養生上の確認	注送位置異動距離 区分	現場内工事進捗の 有無	打設高さ、水平打 設置距離	標準準備	K	K1	K2	K3	R	R1	R2	R3	R4	Z	Z1	Z2	Z3	Z4	S	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S	備考						
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	養生無し	延長無し	-	-	26,692	4.02	3.99	-	-	13.36	6.47	2.86	2.09	1.81	82.62	81.82	0.80	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世帯役	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	養生無し	60m以下	-	-	27,262	4.16	3.90	-	-	14.93	8.19	2.80	2.04	1.78	80.91	80.13	0.78	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世帯役	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	養生無し	60mを超え 120m以下	-	-	28,401	4.44	3.75	-	-	17.91	11.44	2.69	1.96	1.70	77.65	76.90	0.75	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世帯役	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	養生無し	120mを超え 180m以下	-	-	29,541	4.68	3.60	-	-	20.65	14.44	2.58	1.88	1.64	74.67	73.95	0.72	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世帯役	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	養生無し	180mを超え 240m以下	-	-	30,681	4.91	3.47	-	-	23.21	17.22	2.49	1.81	1.58	71.88	71.18	0.70	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世帯役	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	一般養生	延長無し	-	-	27,663	3.88	3.85	-	-	16.39	8.53	2.91	2.76	1.75	79.73	78.96	0.77	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	土木一般世帯役	特殊作業員	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	一般養生	60m以下	-	-	28,233	4.02	3.77	-	-	17.85	10.16	2.85	2.70	1.71	78.13	77.37	0.76	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	土木一般世帯役	特殊作業員	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	一般養生	60mを超え 120m以下	-	-	29,373	4.28	3.62	-	-	20.64	13.23	2.74	2.60	1.65	75.08	74.35	0.73	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	土木一般世帯役	特殊作業員	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	一般養生	120mを超え 180m以下	-	-	30,512	4.53	3.49	-	-	23.19	16.06	2.64	2.50	1.59	72.28	71.58	0.70	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	土木一般世帯役	特殊作業員	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	一般養生	180mを超え 240m以下	-	-	31,652	4.76	3.36	-	-	25.56	18.69	2.54	2.41	1.53	69.68	69.00	0.68	-	-	-	コンクリートポンプ車〔ト ラック装着・フォーム式〕 圧 送能力90～110m ³ /h	-	-	-	普通作業員	土木一般世帯役	特殊作業員	運転手（特殊）	生コンクリート 高圧 24 +12-25（20） W/ C 55%	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-				
無筋・鉄筋構造体	コンクリートポンプ車打設	10m以上 100m未満	特殊養生(保根、 プレキャスト)	延長無し	-																																				

案件区分							標準単価	機材費構成比														代表機材費構成																備考
構造物種別	打設工法	設計日打設量	養生工の種類	仕法管理員配置区分	現場内作業部の種類	打設高さ、水平打設距離		K				R				Z				S	K (*印：資料)				R				Z				S					
								k	k1	k2	k3	R	R1	R2	R3	R4	Z	Z1	Z2	Z3	Z4	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4						
無筋・鉄筋構造物	人力打設	-	養生無し	-	有り	-	33,177	0.00	-	-	-	34.18	19.90	6.73	5.32	-	65.82	65.82	-	-	-	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-	-			
無筋・鉄筋構造物	人力打設	-	養生無し	-	無し	-	29,644	0.00	-	-	-	26.35	11.13	7.54	5.96	-	73.65	73.65	-	-	-	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-	-			
無筋・鉄筋構造物	人力打設	-	一般養生	-	有り	-	34,148	0.00	-	-	-	36.06	21.19	6.54	5.90	-	63.94	63.94	-	-	-	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-	-			
無筋・鉄筋構造物	人力打設	-	一般養生	-	無し	-	30,615	0.00	-	-	-	28.68	12.85	7.30	6.58	-	71.32	71.32	-	-	-	-	-	-	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-	-			
無筋・鉄筋構造物	人力打設	-	特殊養生(縦筋、 ジョイント)	-	有り	-	36,707	0.39	0.39	-	-	37.48	22.14	6.58	6.09	-	62.13	59.49	2.64	-	-	-	-	-	業務用可搬型ヒータ〔ジェット ヒータ〕〔油だき・熱風・ 直火型〕熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油槽 灯油	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	灯油 白灯油 業務用 ミニ ローリー	-	-	-	-			
無筋・鉄筋構造物	人力打設	-	特殊養生(縦筋、 ジョイント)	-	無し	-	33,174	0.43	0.43	-	-	30.81	14.54	7.28	6.73	-	68.76	65.84	2.92	-	-	-	-	-	業務用可搬型ヒータ〔ジェット ヒータ〕〔油だき・熱風・ 直火型〕熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油槽 灯油	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	灯油 白灯油 業務用 ミニ ローリー	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	養生無し	-	-	高さ約17m以下、 水平距離約17m 以下	38,446	5.87	5.65	-	-	37.86	21.80	7.36	7.25	-	56.27	56.27	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕160吊	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	養生無し	-	-	高さ約25m以下、 水平距離約18m 以下	38,539	6.10	5.87	-	-	37.76	21.74	7.34	7.23	-	56.14	56.14	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕200吊	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	養生無し	-	-	高さ約25m以下、 水平距離約20m 以下	38,725	6.55	6.30	-	-	37.58	21.64	7.30	7.20	-	55.87	55.87	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・～低騒音・排出 ガス対策型(2014年規制)〕 250吊	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	養生無し	-	-	高さ約28m以下、 水平距離約20m 以下	39,657	8.74	8.41	-	-	36.70	21.13	7.13	7.03	-	54.56	54.56	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕350吊	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	養生無し	-	-	水平打設距離約 30m以下	39,946	8.16	7.85	-	-	36.44	20.98	7.08	6.98	-	55.40	54.17	1.19	-	-	-	-	-	クロークレーン〔油圧駆動 式ウインチ・ラチスシブ型〕 500吊	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	軽油 バトロール給油	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	一般養生	-	-	高さ約17m以下、 水平距離約17m 以下	40,569	5.56	5.35	-	-	41.11	23.91	8.25	6.97	-	53.33	53.33	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕160吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	一般養生	-	-	高さ約25m以下、 水平距離約18m 以下	40,662	5.78	5.56	-	-	41.01	23.86	8.23	6.95	-	53.21	53.21	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕200吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	一般養生	-	-	高さ約25m以下、 水平距離約20m 以下	40,848	6.20	5.97	-	-	40.82	23.75	8.19	6.92	-	52.98	52.98	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・～低騒音・排出 ガス対策型(2014年規制)〕 250吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	一般養生	-	-	高さ約28m以下、 水平距離約20m 以下	41,780	8.29	7.98	-	-	39.92	23.22	8.01	6.77	-	51.79	51.79	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕350吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	一般養生	-	-	水平打設距離約 30m以下	42,069	7.74	7.45	-	-	39.64	23.06	7.95	6.72	-	52.62	51.45	1.13	-	-	-	-	-	クロークレーン〔油圧駆動 式ウインチ・ラチスシブ型〕 500吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	軽油 バトロール給油	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	特殊養生(縦筋)	-	-	高さ約17m以下、 水平距離約17m 以下	44,403	5.08	4.89	-	-	46.19	26.31	9.49	6.37	-	48.73	48.73	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕160吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	特殊養生(縦筋)	-	-	高さ約25m以下、 水平距離約18m 以下	44,496	5.28	5.08	-	-	46.10	26.25	9.47	6.36	-	48.62	48.62	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕200吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	特殊養生(縦筋)	-	-	高さ約25m以下、 水平距離約20m 以下	44,683	5.67	5.46	-	-	45.90	26.14	9.43	6.33	-	48.43	48.43	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・～低騒音・排出 ガス対策型(2014年規制)〕 250吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	特殊養生(縦筋)	-	-	高さ約28m以下、 水平距離約20m 以下	45,614	7.60	7.31	-	-	44.97	25.61	9.24	6.20	-	47.43	47.43	-	-	-	-	-	-	ラフテレーンクレーン〔油圧 伸縮シブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)〕350吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	-	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	特殊養生(縦筋)	-	-	水平打設距離約 30m以下	45,903	7.10	6.83	-	-	44.68	25.45	9.18	6.16	-	48.22	47.14	1.04	-	-	-	-	-	クロークレーン〔油圧駆動 式ウインチ・ラチスシブ型〕 500吊	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	軽油 バトロール給油	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	特殊養生(ｼﾞｮｲﾝﾄ ﾄｰﾀﾙ)	-	-	高さ約17m以下、 水平距離約17m 以下	53,533	5.51	4.05	1.30	-	44.44	25.14	9.20	5.28	-	50.05	40.44	9.61	-	-	-	-	-	業務用可搬型ヒータ〔ジェッ トヒータ〕〔油だき・熱風・ 直火型〕熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油槽 灯油	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	灯油 白灯油 業務用 ミニ ローリー	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	特殊養生(ｼﾞｮｲﾝﾄ ﾄｰﾀﾙ)	-	-	高さ約25m以下、 水平距離約18m 以下	53,626	5.67	4.21	1.30	-	44.37	25.10	9.19	5.27	-	49.96	40.37	9.59	-	-	-	-	-	業務用可搬型ヒータ〔ジェッ トヒータ〕〔油だき・熱風・ 直火型〕熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油槽 灯油	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	灯油 白灯油 業務用 ミニ ローリー	-	-	-	-			
小型構造物	フルン車打設	-	特殊養生(ｼﾞｮｲﾝﾄ ﾄｰﾀﾙ)	-	-	高さ約25m以下、 水平距離約20m 以下	53,812	6.00	4.53	1.29	-	44.20	25.01	9.15	5.25	-	49.80	40.24	9.56	-	-	-	-	-	業務用可搬型ヒータ〔ジェッ トヒータ〕〔油だき・熱風・ 直火型〕熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油槽 灯油	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 - 12 - 25 (20) W/ C 55%	灯油 白灯油 業務用 ミニ ローリー	-	-	-	-			

案件区分							標準単価	機材費構成比																代表機材費構成													備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
構造物種別	打設工法	設計日打設置	養生工事の種類	仕込管延長距離 区分	現場内介達部の 有無	打設高さ・水平打 設距離		K		R				Z				S				K1				K2 K3 K4				R1				R2				R3				R4				Z1				Z2				Z3				Z4				S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
小型構造物	ポンプ打設	-	特殊養生(ｼﾞｯｸ ﾄｰｸ)	-	-	高さ約28m以下、 水平距離約20m 以下	54,744	7.60	6.09	1.27	-	43.46	24.59	9.00	5.16	-	48.94	39.54	9.40	-	-	ラフデレレンクリーン〔油圧・ 伸縮ｼﾞﾌﾞ型・排出ガス対策型 (第1次基準型)〕35t吊	業務用可搬型ヒータ〔ｼﾞｬｯ ﾄﾋｰﾀ〕〔油だき・熱風・ 直火型〕熱出力126M J/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	-	-	普通作業員	土木一般世話役	特殊作業員	-	生コンクリート 高圧 24 -12-25(20) W/ C 55%	灯油 白灯油 業務用 ミニ ローリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

条件区分		標準単価	機材構成比														代表機材規格												備考				
平均幅員	設計密度(参考)/m3		底層材料種類	K				R	Z				S	K（*印：資料）			R				Z				S								
				K1	K2	K3	R1		R2	R3	R4	Z1		Z2	Z3	Z4	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1		Z2	Z3	Z4					
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	開粒度711(13)	アライト 各種	3,274.7	0.41	0.23	0.13	-	46.15	22.54	13.48	4.11	-	53.44	49.26	3.96	0.16	0.03	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	開粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	-
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	開粒度711(13)	無し	3,024.9	0.41	0.25	0.14	-	46.05	24.40	14.60	4.45	-	53.54	53.33	0.17	0.03	-	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	開粒度アスコン（13）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.35t/m3)	外ワト 各種	3,546.7	0.38	0.21	0.12	-	42.62	20.81	12.45	3.80	-	57.00	55.56	1.24	0.15	0.03	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	-
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.35t/m3)	アライト 各種	3,632.2	0.37	0.21	0.12	-	41.62	20.32	12.16	3.71	-	58.01	54.25	3.57	0.14	0.03	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	-
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.35t/m3)	無し	3,382.4	0.36	0.22	0.12	-	41.18	21.82	13.05	3.98	-	58.46	58.27	0.15	0.03	-	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	密粒度アスコン（20）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.30t/m3)	外ワト 各種	3,538.1	0.38	0.21	0.12	-	42.72	20.86	12.48	3.81	-	56.90	55.45	1.25	0.15	0.03	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	-
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.30t/m3)	アライト 各種	3,623.6	0.38	0.21	0.12	-	41.71	20.37	12.18	3.72	-	57.91	54.14	3.58	0.14	0.03	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	-
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.30t/m3)	無し	3,373.8	0.36	0.22	0.12	-	41.29	21.88	13.09	3.99	-	58.35	58.16	0.15	0.03	-	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	細粒度アスコン（13）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	密粒度711(20)	外ワト 各種	1,827.2	1.70	1.09	0.22	0.20	15.67	5.35	3.65	3.57	1.30	82.63	79.88	2.42	0.30	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	密粒度711(20)	アライト 各種	1,912.7	1.62	1.04	0.21	0.19	14.97	5.11	3.49	3.41	1.24	83.41	76.32	6.78	0.28	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	密粒度711(20)	無し	1,759.9	1.64	1.13	0.23	0.21	15.12	5.55	3.79	3.71	1.35	83.24	82.92	0.31	-	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	密粒度アスコン（20）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	細粒度711(13)	外ワト 各種	1,820.7	1.70	1.09	0.22	0.20	15.74	5.37	3.66	3.59	1.31	82.56	79.80	2.43	0.30	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	細粒度711(13)	アライト 各種	1,906.2	1.62	1.04	0.21	0.19	15.03	5.13	3.50	3.42	1.25	83.35	76.24	6.80	0.28	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	細粒度711(13)	無し	1,753.4	1.64	1.13	0.23	0.21	15.17	5.57	3.80	3.72	1.36	83.19	82.87	0.31	-	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	開粒度711(13)	外ワト 各種	1,562.3	2.00	1.27	0.26	0.24	18.33	6.25	4.27	4.18	1.52	79.67	76.45	2.83	0.35	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	開粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	開粒度711(13)	アライト 各種	1,647.8	1.88	1.21	0.24	0.22	17.38	5.93	4.05	3.96	1.44	80.74	72.50	7.87	0.33	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	開粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	開粒度711(13)	無し	1,495	1.94	1.33	0.27	0.25	17.80	6.54	4.46	4.37	1.59	80.26	79.89	0.36	-	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	開粒度アスコン（13）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.35t/m3)	外ワト 各種	1,827.2	1.70	1.09	0.22	0.20	15.67	5.35	3.65	3.57	1.30	82.63	79.88	2.42	0.30	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.35t/m3)	アライト 各種	1,912.7	1.62	1.04	0.21	0.19	14.97	5.11	3.49	3.41	1.24	83.41	76.32	6.78	0.28	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.35t/m3)	無し	1,759.9	1.64	1.13	0.23	0.21	15.12	5.55	3.79	3.71	1.35	83.24	82.92	0.31	-	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	密粒度アスコン（20）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.30t/m3)	外ワト 各種	1,820.7	1.70	1.09	0.22	0.20	15.74	5.37	3.66	3.59	1.31	82.56	79.80	2.43	0.30	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.30t/m3)	アライト 各種	1,906.2	1.62	1.04	0.21	0.19	15.03	5.13	3.50	3.42	1.25	83.35	76.24	6.80	0.28	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[振乗式・3バインド]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	

平均幅員	区別 設計密度(参考) m³/m³	選定材料種類	標準単価	機材構成比														代表機材規格										備考					
				K	K			R	R				Z	Z				S	K（*印：資料）				R				Z				S		
					K1	K2	K3		R1	R2	R3	R4		Z1	Z2	Z3	Z4		K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2		Z3	Z4			
1.4m以上3.0m以下	各種(2.30t/m³)	無し	1,753.4	1.64	1.13	0.23	0.21	15.17	5.57	3.80	3.72	1.36	83.19	82.87	0.31	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	* 振動0-9[路床式・30K・10t]型・～低騒・排出ガス対策型（～3次） 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン（13）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-		
3.0m組	密粒度711(X20)	外ワト 各種	1,723.2	1.44	0.92	0.14	0.14	10.68	3.84	2.16	2.13	0.77	87.88	84.70	2.57	0.51	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	
3.0m組	密粒度711(X20)	アライト 各種	1,808.7	1.38	0.88	0.14	0.13	10.17	3.66	2.06	2.03	0.73	88.45	80.70	7.17	0.49	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	
3.0m組	密粒度711(X20)	無し	1,667.9	1.42	0.95	0.15	0.15	10.48	3.97	2.23	2.20	0.79	88.10	87.50	0.53	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	密粒度アスコン（20）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-	
3.0m組	細粒度711(X13)	外ワト 各種	1,716.7	1.45	0.93	0.14	0.14	10.73	3.86	2.17	2.14	0.77	87.82	84.63	2.57	0.52	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	細粒度711(X13)	アライト 各種	1,802.2	1.39	0.88	0.14	0.14	10.20	3.67	2.06	2.04	0.73	88.41	80.63	7.20	0.49	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	細粒度711(X13)	無し	1,661.4	1.43	0.96	0.15	0.15	10.53	3.99	2.24	2.21	0.80	88.04	87.44	0.53	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン（13）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度711(X13)	外ワト 各種	1,458.3	1.71	1.09	0.17	0.17	12.62	4.54	2.55	2.52	0.91	85.67	81.91	3.03	0.61	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度711(X13)	アライト 各種	1,543.8	1.62	1.03	0.16	0.16	11.93	4.29	2.41	2.38	0.86	86.45	77.36	8.40	0.58	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度711(X13)	無し	1,403	1.69	1.13	0.18	0.17	12.47	4.72	2.65	2.62	0.95	85.84	85.13	0.63	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン（13）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m³)	外ワト 各種	1,723.2	1.44	0.92	0.14	0.14	10.68	3.84	2.16	2.13	0.77	87.88	84.70	2.57	0.51	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m³)	アライト 各種	1,808.7	1.38	0.88	0.14	0.13	10.17	3.66	2.06	2.03	0.73	88.45	80.70	7.17	0.49	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	密粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m³)	無し	1,667.9	1.42	0.95	0.15	0.15	10.48	3.97	2.23	2.20	0.79	88.10	87.50	0.53	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	密粒度アスコン（20）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m³)	外ワト 各種	1,716.7	1.45	0.93	0.14	0.14	10.73	3.86	2.17	2.14	0.77	87.82	84.63	2.57	0.52	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m³)	アライト 各種	1,802.2	1.39	0.88	0.14	0.14	10.20	3.67	2.06	2.04	0.73	88.41	80.63	7.20	0.49	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m³)	無し	1,661.4	1.43	0.96	0.15	0.15	10.53	3.99	2.24	2.21	0.80	88.04	87.44	0.53	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型（～3次）】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）】 質量10t	* 普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン（13）	軽油 バトルール給油	-	-	-	-	-	-	-

$1/2$

2/2

各料区分			標準単価	機材構成比率														S	代表機材規格																備考			
平均幅員	設計密度(参考)(㎡/m3)	層高材料種類		K	K1			K2	K3	R	R1				R2	R3	R4		Z	Z1		Z2	Z3	Z4	K1	K2		K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2		Z3	Z4	S
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	再生粗粒度F2J(20)	砂利・石 各種	2,529	0.50	0.28	0.15	-	50.75	22.42	16.06	4.90	-	48.75	46.73	1.75	0.19	0.04	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	再生粗粒度F2J(20)	アライメント 各種	2,614.5	0.49	0.27	0.15	-	49.04	21.64	15.54	4.74	-	50.47	45.26	4.96	0.18	0.04	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-3 フライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	再生粗粒度F2J(20)	無し	2,362.2	0.48	0.30	0.16	-	49.18	23.96	17.20	5.24	-	50.34	50.09	0.20	0.04	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F2J(13)	砂利・石 各種	2,799.1	0.45	0.25	0.14	-	45.80	20.22	14.51	4.42	-	53.75	51.94	1.58	0.17	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F2J(13)	アライメント 各種	2,884.6	0.43	0.24	0.13	-	44.45	19.62	14.08	4.29	-	55.12	50.40	4.49	0.17	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-3 フライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F2J(13)	無し	2,632.3	0.43	0.26	0.15	-	44.13	21.50	15.43	4.71	-	55.44	55.21	0.18	0.04	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F2J(13)	砂利・石 各種	2,540.7	0.49	0.27	0.15	-	50.53	22.33	15.99	4.88	-	48.98	46.97	1.74	0.19	0.04	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F2J(13)	アライメント 各種	2,626.2	0.49	0.27	0.15	-	48.83	21.55	15.47	4.72	-	50.68	45.49	4.94	0.18	0.04	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-3 フライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F2J(13)	無し	2,373.9	0.47	0.29	0.16	-	48.94	23.84	17.11	5.22	-	50.59	50.34	0.20	0.04	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.35t/m3)	砂利・石 各種	2,529	0.50	0.28	0.15	-	50.75	22.42	16.06	4.90	-	48.75	46.73	1.75	0.19	0.04	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.35t/m3)	アライメント 各種	2,614.5	0.49	0.27	0.15	-	49.04	21.64	15.54	4.74	-	50.47	45.26	4.96	0.18	0.04	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-3 フライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.35t/m3)	無し	2,362.2	0.48	0.30	0.16	-	49.18	23.96	17.20	5.24	-	50.34	50.09	0.20	0.04	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.30t/m3)	砂利・石 各種	2,799.1	0.45	0.25	0.14	-	45.80	20.22	14.51	4.42	-	53.75	51.94	1.58	0.17	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.30t/m3)	アライメント 各種	2,884.6	0.43	0.24	0.13	-	44.45	19.62	14.08	4.29	-	55.12	50.40	4.49	0.17	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-3 フライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.30t/m3)	無し	2,632.3	0.43	0.26	0.15	-	44.13	21.50	15.43	4.71	-	55.44	55.21	0.18	0.04	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	再生粗粒度F2J(20)	砂利・石 各種	2,996	0.45	0.25	0.14	-	50.51	24.69	14.74	4.50	-	49.04	47.33	1.47	0.17	0.04	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	再生粗粒度F2J(20)	アライメント 各種	3,081.5	0.44	0.25	0.14	-	49.06	23.96	14.33	4.37	-	50.50	46.06	4.21	0.17	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 P K-3 フライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	再生粗粒度F2J(20)	無し	2,831.7	0.44	0.27	0.15	-	49.20	26.07	15.59	4.76	-	50.36	50.13	0.18	0.04	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン（20）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	細粒度F2J(13)	砂利・石 各種	3,320.3	0.41	0.23	0.13	-	45.53	22.23	13.30	4.06	-	54.06	52.52	1.33	0.16	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	細粒度F2J(13)	アライメント 各種	3,405.7	0.39	0.22	0.12	-	44.37	21.67	12.96	3.95	-	55.24	51.23	3.81	0.15	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-3 フライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	細粒度F2J(13)	無し	3,155.9	0.39	0.24	0.13	-	44.14	23.39	13.99	4.27	-	55.47	55.27	0.16	0.03	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-					-			
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	細粒度F2J(13)	砂利・石 各種	3,010.2	0.45	0.25	0.14	-	50.27	24.58	14.67	4.47	-	49.28	47.58	1.47	0.17	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-					-			

集約区分			標準単価	機材構成比率												S	代表機材規格												備考		
平均幅員	設計密度(参考)(m3)	遊荷材料種類		K				R				Z					K（*印：資料）				R				Z					S	
				K1	K2	K3		R1	R2	R3	R4		Z1	Z2	Z3	Z4		K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4			
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	開粒度F13(13)	アライト 各種	3,095.7	0.43	0.24	0.14	-	48.83	23.85	14.26	4.35	-	50.74	46.32	4.19	0.17	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	開粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	開粒度F13(13)	無し	2,845.9	0.44	0.27	0.15	-	48.96	25.94	15.52	4.73	-	50.60	50.37	0.18	0.04	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	開粒度アスコン（13）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.35t/m3)	外ワト 各種	2,996	0.45	0.25	0.14	-	50.51	24.69	14.74	4.50	-	49.04	47.33	1.47	0.17	0.04	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-4タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.35t/m3)	アライト 各種	3,081.5	0.44	0.25	0.14	-	49.06	23.96	14.33	4.37	-	50.50	46.06	4.21	0.17	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.35t/m3)	無し	2,831.7	0.44	0.27	0.15	-	49.20	26.07	15.59	4.76	-	50.36	50.13	0.18	0.04	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	再生粗粒度アスコン（20）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.30t/m3)	外ワト 各種	3,320.3	0.41	0.23	0.13	-	45.53	22.23	13.30	4.06	-	54.06	52.52	1.33	0.16	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-4タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.30t/m3)	アライト 各種	3,405.7	0.39	0.22	0.12	-	44.37	21.67	12.96	3.95	-	55.24	51.23	3.81	0.15	0.03	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.30t/m3)	無し	3,155.9	0.39	0.24	0.13	-	44.14	23.39	13.99	4.27	-	55.47	55.27	0.16	0.03	-	振動ローラ（舗装用）【ハンドガイド式】 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ【前進型】 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世役	-	細粒度アスコン（13）	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	再生粗粒度F23(20)	外ワト 各種	1,550.6	2.01	1.28	0.26	0.24	18.46	6.30	4.30	4.21	1.53	79.53	76.29	2.85	0.35	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-4タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	再生粗粒度F23(20)	アライト 各種	1,636.1	1.89	1.21	0.24	0.22	17.50	5.97	4.08	3.99	1.45	80.61	72.31	7.93	0.33	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	再生粗粒度F23(20)	無し	1,483.3	1.95	1.34	0.27	0.25	17.94	6.59	4.50	4.40	1.60	80.11	79.73	0.37	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	再生粗粒度アスコン（20）	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	細粒度F13(13)	外ワト 各種	1,820.7	1.70	1.09	0.22	0.20	15.74	5.37	3.66	3.59	1.31	82.56	79.80	2.43	0.30	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-4タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	細粒度F13(13)	アライト 各種	1,906.2	1.62	1.04	0.21	0.19	15.03	5.13	3.50	3.42	1.25	83.35	76.24	6.80	0.28	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	細粒度F13(13)	無し	1,753.4	1.64	1.13	0.23	0.21	15.17	5.57	3.80	3.72	1.36	83.19	82.87	0.31	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	開粒度F13(13)	外ワト 各種	1,562.3	2.00	1.27	0.26	0.24	18.33	6.25	4.27	4.18	1.52	79.67	76.45	2.83	0.35	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	開粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-4タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	開粒度F13(13)	アライト 各種	1,647.8	1.88	1.21	0.24	0.22	17.38	5.93	4.05	3.96	1.44	80.74	72.50	7.87	0.33	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	開粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	開粒度F13(13)	無し	1,495	1.94	1.33	0.27	0.25	17.80	6.54	4.46	4.37	1.59	80.26	79.89	0.36	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	開粒度アスコン（13）	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.35t/m3)	外ワト 各種	1,550.6	2.01	1.28	0.26	0.24	18.46	6.30	4.30	4.21	1.53	79.53	76.29	2.85	0.35	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-4タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.35t/m3)	アライト 各種	1,636.1	1.89	1.21	0.24	0.22	17.50	5.97	4.08	3.99	1.45	80.61	72.31	7.93	0.33	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	再生粗粒度アスコン（20）	アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.35t/m3)	無し	1,483.3	1.95	1.34	0.27	0.25	17.94	6.59	4.50	4.40	1.60	80.11	79.73	0.37	-	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	再生粗粒度アスコン（20）	軽油 バトルール給油	-	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.30t/m3)	外ワト 各種	1,820.7	1.70	1.09	0.22	0.20	15.74	5.37	3.66	3.59	1.31	82.56	79.80	2.43	0.30	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-4タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-	
1.4m以上3.0m以下	各種(2.30t/m3)	アライト 各種	1,906.2	1.62	1.04	0.21	0.19	15.03	5.13	3.50	3.42	1.25	83.35	76.24	6.80	0.28	-	アスファルトフィニッシュ【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振乗式・コバイド]型・～低騒-排対型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型、排出ガス対策型（第3次基準値）】 質量3～4t	*	普通作業員	運転手（特殊）	特殊作業員	土木一般世役	細粒度アスコン（13）	アスファルト乳剤 PK-3プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-	

平均幅員	集積区分 設計密度(参考)(m ³)	遊荷材料種類	標準単価	機材構成比率														代表機材規格														備考
				K				R	Z				S	K (*印: 資料)				R				Z				S						
				K1	K2	K3	R1		R2	R3	R4	Z1		Z2	Z3	Z4	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2		Z3	Z4				
1.4m以上3.0m以下	各種(2.30t/m ³)	無し	1,753.4	1.64	1.13	0.23	0.21	15.17	5.57	3.80	3.72	1.36	83.19	82.87	0.31	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅1.4～3.0m	* 振動0-9[路床式・30Kt・D型・～低騒・排出ガス対策型(～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)】 質量3～4t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン(13)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-		
3.0m組	再生粗粒度F1J(20)	オグト 各種	1,446.6	1.73	1.10	0.17	0.17	12.73	4.58	2.57	2.54	0.92	85.54	81.75	3.06	0.61	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン(20)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	
3.0m組	再生粗粒度F1J(20)	アラドト 各種	1,532.1	1.63	1.04	0.16	0.16	12.02	4.32	2.43	2.40	0.87	86.35	77.19	8.47	0.58	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン(20)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	
3.0m組	再生粗粒度F1J(20)	無し	1,391.3	1.71	1.14	0.18	0.18	12.56	4.76	2.67	2.64	0.95	85.73	85.00	0.64	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン(20)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	
3.0m組	細粒度F1J(13)	オグト 各種	1,716.7	1.45	0.93	0.14	0.14	10.73	3.86	2.17	2.14	0.77	87.82	84.63	2.57	0.52	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン(13)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-
3.0m組	細粒度F1J(13)	アラドト 各種	1,802.2	1.39	0.88	0.14	0.14	10.20	3.67	2.06	2.04	0.73	88.41	80.63	7.20	0.49	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン(13)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-
3.0m組	細粒度F1J(13)	無し	1,661.4	1.43	0.96	0.15	0.15	10.53	3.99	2.24	2.21	0.80	88.04	87.44	0.53	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン(13)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度F1J(13)	オグト 各種	1,458.3	1.71	1.09	0.17	0.17	12.62	4.54	2.55	2.52	0.91	85.67	81.91	3.03	0.61	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン(13)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度F1J(13)	アラドト 各種	1,543.8	1.62	1.03	0.16	0.16	11.93	4.29	2.41	2.38	0.86	86.45	77.36	8.40	0.58	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン(13)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度F1J(13)	無し	1,403	1.69	1.13	0.18	0.17	12.47	4.72	2.65	2.62	0.95	85.84	85.13	0.63	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン(13)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m ³)	オグト 各種	1,446.6	1.73	1.10	0.17	0.17	12.73	4.58	2.57	2.54	0.92	85.54	81.75	3.06	0.61	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン(20)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m ³)	アラドト 各種	1,532.1	1.63	1.04	0.16	0.16	12.02	4.32	2.43	2.40	0.87	86.35	77.19	8.47	0.58	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン(20)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m ³)	無し	1,391.3	1.71	1.14	0.18	0.18	12.56	4.76	2.67	2.64	0.95	85.73	85.00	0.64	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン(20)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m ³)	オグト 各種	1,716.7	1.45	0.93	0.14	0.14	10.73	3.86	2.17	2.14	0.77	87.82	84.63	2.57	0.52	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン(13)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m ³)	アラドト 各種	1,802.2	1.39	0.88	0.14	0.14	10.20	3.67	2.06	2.04	0.73	88.41	80.63	7.20	0.49	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン(13)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m ³)	無し	1,661.4	1.43	0.96	0.15	0.15	10.53	3.99	2.24	2.21	0.80	88.04	87.44	0.53	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	* タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型(～3次)】 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 質量10t	* 普通作業員	運転手(特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン(13)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-

バージョン番号：202502			SP 中継路 (歩道部)										積算単位：㎡																				
バージョン番号：202502			対象年度：令和7年度																														
各料区分			標準単価	機材構成比率												S	代表機材規格																備考
平均幅員	設計密度(参考)/m3	遊歩材料種類		K				R					Z					K (※注：資料)				R				Z				S			
				K1	K2	K3	R	R1	R2	R3	R4	Z	Z1	Z2	Z3		Z4	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4					
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	再生粗粒度F1J(20)	砕石・ト 各種	2,366.8	0.44	0.29	0.08	-	49.42	19.13	17.17	5.23	-	50.14	48.11	1.87	0.10	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	再生粗粒度F1J(20)	アライメント 各種	2,452.3	0.43	0.28	0.08	-	47.69	18.46	16.57	5.05	-	51.88	46.43	5.29	0.10	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	再生粗粒度F1J(20)	無し	2,203	0.43	0.32	0.09	-	47.73	20.55	18.44	5.62	-	51.84	51.67	0.11	0.05	-	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F1J(13)	砕石・ト 各種	2,624.7	0.40	0.27	0.07	-	44.56	17.25	15.48	4.72	-	55.04	53.21	1.68	0.09	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F1J(13)	アライメント 各種	2,710.2	0.39	0.26	0.07	-	43.15	16.70	14.99	4.57	-	56.46	51.53	4.78	0.09	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	細粒度F1J(13)	無し	2,460.9	0.38	0.28	0.08	-	42.72	18.39	16.51	5.03	-	56.90	56.75	0.10	0.04	-	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.20t/m3)	砕石・ト 各種	2,366.8	0.44	0.29	0.08	-	49.42	19.13	17.17	5.23	-	50.14	48.11	1.87	0.10	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.20t/m3)	アライメント 各種	2,452.3	0.43	0.28	0.08	-	47.69	18.46	16.57	5.05	-	51.88	46.43	5.29	0.10	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.20t/m3)	無し	2,203	0.43	0.32	0.09	-	47.73	20.55	18.44	5.62	-	51.84	51.67	0.11	0.05	-	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.15t/m3)	砕石・ト 各種	2,624.7	0.40	0.27	0.07	-	44.56	17.25	15.48	4.72	-	55.04	53.21	1.68	0.09	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.15t/m3)	アライメント 各種	2,710.2	0.39	0.26	0.07	-	43.15	16.70	14.99	4.57	-	56.46	51.53	4.78	0.09	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm以下	各種(2.15t/m3)	無し	2,460.9	0.38	0.28	0.08	-	42.72	18.39	16.51	5.03	-	56.90	56.75	0.10	0.04	-	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	再生粗粒度F1J(20)	砕石・ト 各種	2,807.6	0.39	0.27	0.07	-	49.23	21.91	15.73	4.80	-	50.38	48.66	1.57	0.09	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	再生粗粒度F1J(20)	アライメント 各種	2,893.1	0.38	0.26	0.07	-	47.77	21.26	15.26	4.66	-	51.85	47.22	4.48	0.09	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	再生粗粒度F1J(20)	無し	2,642.8	0.39	0.29	0.08	-	47.79	23.28	16.71	5.10	-	51.82	51.68	0.10	0.04	-	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	細粒度F1J(13)	砕石・ト 各種	3,117.2	0.36	0.24	0.07	-	44.33	19.73	14.17	4.32	-	55.31	53.77	1.42	0.08	0.03	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	細粒度F1J(13)	アライメント 各種	3,202.7	0.34	0.24	0.06	-	43.16	19.21	13.79	4.21	-	56.50	52.33	4.05	0.08	0.03	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	細粒度F1J(13)	無し	2,952.3	0.35	0.26	0.07	-	42.77	20.83	14.96	4.56	-	56.88	56.75	0.09	0.04	-	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	各種(2.20t/m3)	砕石・ト 各種	2,807.6	0.39	0.27	0.07	-	49.23	21.91	15.73	4.80	-	50.38	48.66	1.57	0.09	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	各種(2.20t/m3)	アライメント 各種	2,893.1	0.38	0.26	0.07	-	47.77	21.26	15.26	4.66	-	51.85	47.22	4.48	0.09	0.04	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	各種(2.20t/m3)	無し	2,642.8	0.39	0.29	0.08	-	47.79	23.28	16.71	5.10	-	51.82	51.68	0.10	0.04	-	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	再生粗粒度アスコン (20)	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-	-				
1.4m未満1層仕 上厚50mm超 70mm以下	各種(2.15t/m3)	砕石・ト 各種	3,117.2	0.36	0.24	0.07	-	44.33	19.73	14.17	4.32	-	55.31	53.77	1.42	0.08	0.03	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	ガソリン レギュラー スタンド	軽油 バトロール給油	-				

平均幅員	集積区分		標準単価	機材構成比率															代表機材規格												備考		
	設計密度(参考) /m ³	選育材料種類		K	K				R	R				Z	Z				S	K (※付：資料)				R				Z				S	
					K1	K2	K3	R1		R2	R3	R4	Z1		Z2	Z3	Z4	K1		K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4				
1.4m以上3.0m以下	各種(2.30t/m ³)	無し	1,753.4	1.64	1.13	0.23	0.21	15.17	5.57	3.80	3.72	1.36	83.19	82.87	0.31	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅1.4～3.0m	振動0-9[路乗式・30t・D型・～低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量3～4t	タイヤローラ【普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)】 質量3～4t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-		
3.0m組	再生粗粒度F1J(20)	外ワト 各種	1,446.6	1.73	1.10	0.17	0.17	12.73	4.58	2.57	2.54	0.92	85.54	81.75	3.06	0.61	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	
3.0m組	再生粗粒度F1J(20)	アライント 各種	1,532.1	1.63	1.04	0.16	0.16	12.02	4.32	2.43	2.40	0.87	86.35	77.19	8.47	0.58	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	
3.0m組	再生粗粒度F1J(20)	無し	1,391.3	1.71	1.14	0.18	0.18	12.56	4.76	2.67	2.64	0.95	85.73	85.00	0.64	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-	
3.0m組	細粒度F1J(13)	外ワト 各種	1,716.7	1.45	0.93	0.14	0.14	10.73	3.86	2.17	2.14	0.77	87.82	84.63	2.57	0.52	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	細粒度F1J(13)	アライント 各種	1,802.2	1.39	0.88	0.14	0.14	10.20	3.67	2.06	2.04	0.73	88.41	80.63	7.20	0.49	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	細粒度F1J(13)	無し	1,661.4	1.43	0.96	0.15	0.15	10.53	3.99	2.24	2.21	0.80	88.04	87.44	0.53	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度F1J(13)	外ワト 各種	1,458.3	1.71	1.09	0.17	0.17	12.62	4.54	2.55	2.52	0.91	85.67	81.91	3.03	0.61	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度F1J(13)	アライント 各種	1,543.8	1.62	1.03	0.16	0.16	11.93	4.29	2.41	2.38	0.86	86.45	77.36	8.40	0.58	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	開粒度F1J(13)	無し	1,403	1.69	1.13	0.18	0.17	12.47	4.72	2.65	2.62	0.95	85.84	85.13	0.63	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	開粒度アスコン (13)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m ³)	外ワト 各種	1,446.6	1.73	1.10	0.17	0.17	12.73	4.58	2.57	2.54	0.92	85.54	81.75	3.06	0.61	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m ³)	アライント 各種	1,532.1	1.63	1.04	0.16	0.16	12.02	4.32	2.43	2.40	0.87	86.35	77.19	8.47	0.58	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.35t/m ³)	無し	1,391.3	1.71	1.14	0.18	0.18	12.56	4.76	2.67	2.64	0.95	85.73	85.00	0.64	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m ³)	外ワト 各種	1,716.7	1.45	0.93	0.14	0.14	10.73	3.86	2.17	2.14	0.77	87.82	84.63	2.57	0.52	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m ³)	アライント 各種	1,802.2	1.39	0.88	0.14	0.14	10.20	3.67	2.06	2.04	0.73	88.41	80.63	7.20	0.49	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
3.0m組	各種(2.30t/m ³)	無し	1,661.4	1.43	0.96	0.15	0.15	10.53	3.99	2.24	2.21	0.80	88.04	87.44	0.53	-	-	アスファルトフィニッシュ 【ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)】 舗装幅2.3～6.0m	タイヤローラ【普通型・～超低騒・排出ガス対策型 (～3次)] 質量8～20t	ロードローラ【マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)】 質量10t	普通作業員	運転手 (特殊)	特殊作業員	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	軽油 バトロール給油	-	-	-	-	-	-	-

条件区分				標準中値	機劣材補正比														代表機劣材規格																備考											
平均幅員	設計密度(参考)/m ³	選育材料種類	K		K1	K2	K3	R	R1	R2	R3	R4	Z	Z1	Z2	Z3	Z4	S	K (↑印:資料)				R				Z				S															
																			K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S																
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.15t/m ³)	アサルト 各種	3,202.7	0.34	0.24	0.06	-	43.16	19.21	13.79	4.21	-	56.50	52.33	4.05	0.08	0.03		振動ローラ (舗装用) [ハンドカイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンバクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	カソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-															
1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下	各種(2.15t/m ³)	無し	2,952.3	0.35	0.26	0.07	-	42.77	20.83	14.96	4.56	-	56.88	56.75	0.09	0.04	-		振動ローラ (舗装用) [ハンドカイド式] 運転質量0.5～0.6t	振動コンバクタ [前進型] 機械質量40～60kg	-		特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	細粒度アスコン (13)	カソリン レギュラー スタンド	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	再生粗粒度アサルト(20)	アサルト 各種	1,584.2	2.40	1.80	0.35	-	22.56	8.52	5.69	3.86	2.07	75.04	71.85	2.79	0.36	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	再生粗粒度アサルト(20)	アサルト 各種	1,669.7	2.27	1.70	0.33	-	21.40	8.09	5.40	3.66	1.96	76.33	68.18	7.77	0.34	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	再生粗粒度アサルト(20)	無し	1,514.8	2.36	1.88	0.37	-	22.12	8.92	5.95	4.04	2.16	75.52	75.14	0.37	-	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	軽油 バトルール給油	-	-	-															
1.4m以上	細粒度アサルト(13)	アサルト 各種	1,842.2	2.06	1.54	0.30	-	19.41	7.33	4.90	3.32	1.78	78.53	75.80	2.40	0.30	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	細粒度アサルト(13)	アサルト 各種	1,927.6	1.97	1.47	0.29	-	18.54	7.01	4.68	3.17	1.70	79.49	72.44	6.73	0.29	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	細粒度アサルト(13)	無し	1,772.7	2.00	1.60	0.31	-	18.91	7.62	5.09	3.45	1.85	79.09	78.76	0.32	-	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	軽油 バトルール給油	-	-	-															
1.4m以上	各種(2.20t/m ³)	アサルト 各種	1,584.2	2.40	1.80	0.35	-	22.56	8.52	5.69	3.86	2.07	75.04	71.85	2.79	0.36	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	各種(2.20t/m ³)	アサルト 各種	1,669.7	2.27	1.70	0.33	-	21.40	8.09	5.40	3.66	1.96	76.33	68.18	7.77	0.34	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	各種(2.20t/m ³)	無し	1,514.8	2.36	1.88	0.37	-	22.12	8.92	5.95	4.04	2.16	75.52	75.14	0.37	-	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	再生粗粒度アスコン (20)	軽油 バトルール給油	-	-	-															
1.4m以上	各種(2.15t/m ³)	アサルト 各種	1,842.2	2.06	1.54	0.30	-	19.41	7.33	4.90	3.32	1.78	78.53	75.80	2.40	0.30	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-4 タックコート用	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	各種(2.15t/m ³)	アサルト 各種	1,927.6	1.97	1.47	0.29	-	18.54	7.01	4.68	3.17	1.70	79.49	72.44	6.73	0.29	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	アスファルト乳剤 P K-3 プライムコート用	軽油 バトルール給油	-	-															
1.4m以上	各種(2.15t/m ³)	無し	1,772.7	2.00	1.60	0.31	-	18.91	7.62	5.09	3.45	1.85	79.09	78.76	0.32	-	-		アスファルトフィニッシャー [クロウ型] 舗装幅1.4～3.0m	振動0-5[振動式・ダブル]型・～低騒・排対型(～3次)] 質量 3～4t	-		普通作業員	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	細粒度アスコン (13)	軽油 バトルール給油	-	-	-															

SQA008

SP コンクリート削孔（電動ハンマドリル）

バージョン番号：202502

精算単位：孔

対象年度：令和7年度

条件区分		標準単価	機材構成比															代表機材規格												備考
削孔径	削孔深		K	R				Z								S	K（*印：賃料）				R				Z				S	
				K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	K1		K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4				
10mm以上 30mm未満	30mm以上 200mm未満	684.28	2.15	1.03	0.72	-	95.53	45.54	18.55	13.59	-	2.32	1.89	-	-	-	発動発電機〔ガソリンエンジン駆動〕2kVA	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	ガソリン レギュラー スタンド	-	-	-	-	-	
10mm以上 30mm未満	200mm以上 400mm以下	1,013.2	1.97	0.93	0.65	-	95.91	44.73	18.55	13.46	-	2.12	1.70	-	-	-	発動発電機〔ガソリンエンジン駆動〕2kVA	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	ガソリン レギュラー スタンド	-	-	-	-	-	